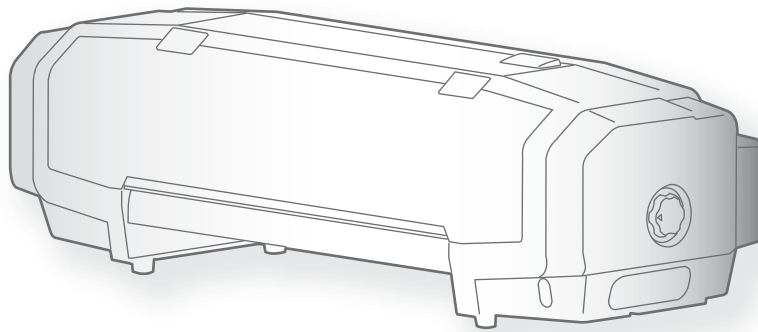


VJ-628/628X

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



-
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複製・複製することを禁止します。
 - 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
 - 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
 - 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本マニュアルでの各ソフトウェアの画面について

各ソフトウェア（アプリケーション、プリンタードライバー）は、機種により表示される画面や機能が異なる場合があります。このマニュアルでは特に断りのない場合は、VJ-628 で表示される画面を使用しています。

第1章 基本的な使い方

| | |
|--|----|
| はじめに | 8 |
| 各部の名称 | 8 |
| 本製品のシステム構成 | 9 |
| プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法 | 10 |
| MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法 | 11 |
| MUTOH LFP Finder の起動方法 | 12 |
| Layout and Print Tool 2 の起動方法 | 12 |
| ヘルプの表示方法 | 13 |
| 使用できるメディアの条件 | 14 |
| ご使用上のお願い | 15 |
| 電源のオンオフ | 16 |
| 電源をオンにする | 16 |
| 電源をオフにする | 16 |
| スリープモード | 17 |
| スリープモードの開始と終了 | 17 |
| タイマーのセット方法 | 19 |
| 印刷する | 20 |
| メディアをセットする | 20 |
| 画質調整 | 22 |
| 用紙送り補正 | 27 |
| ノズルチェックとクリーニング | 32 |
| 印刷を開始する | 35 |
| 印刷の一時停止／再開 | 36 |
| 印刷のキャンセル | 36 |
| メディアの送り／巻き戻し | 37 |
| プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする | 37 |
| メディアのカット | 38 |
| 操作パネルからカットする | 38 |
| プリンタードライバー／MSM からカットする | 38 |
| 手でカットする | 39 |
| 自動でカットする | 39 |
| 大容量パックアダプターについて | 40 |
| はじめて大容量パックアダプターを使用するとき | 40 |
| プラグ交換について | 40 |

第2章 くわしい使い方

| | |
|---------------------|----|
| ヘッド高さを変更する | 42 |
| 加圧アームを個別に解除する | 43 |
| くわしい設定方法 | 44 |
| オートカットの設定 | 44 |
| 吸着ファンの設定 | 46 |
| ヒーターの設定 | 47 |
| ホワイトメンテナンスの設定 | 48 |

第3章 メンテナンス

| | |
|------------------------------|----|
| メンテナンスについて | 50 |
| インクカートリッジを振る (VJ-628X) | 51 |
| メッセージの確認方法 | 51 |
| インクカートリッジを振る | 52 |
| インクの確認とインクカートリッジの交換 | 53 |
| インク残量を確認する | 53 |
| インクカートリッジの交換が近づいたら | 54 |
| インクカートリッジの交換 | 54 |
| 廃液タンクを空にする | 56 |
| 各部のクリーニング | 58 |
| ヘッドクリーニング | 58 |
| クリーニングワイパーの清掃 | 60 |
| プリントヘッド外周の清掃 | 63 |
| 内部の清掃 | 65 |
| 消耗品の交換 | 66 |
| フラッシングボックス用吸収材の交換 | 66 |
| カッターの交換 | 68 |
| 大容量パックアダプターのプラグ交換 | 69 |
| 輸送と長期保存 | 72 |
| 輸送するとき | 72 |
| 初期充電の方法 | 76 |
| 長期保存するとき | 78 |

第4章 付録

| | |
|-------------------------|-----------|
| 困ったときには..... | 80 |
| メッセージ/エラーメッセージへの対応..... | 80 |
| メディアが詰まった場合..... | 84 |
| お問い合わせ先..... | 85 |
| 本製品の仕様 | 86 |
| 作画領域..... | 86 |
| 仕様一覧..... | 87 |

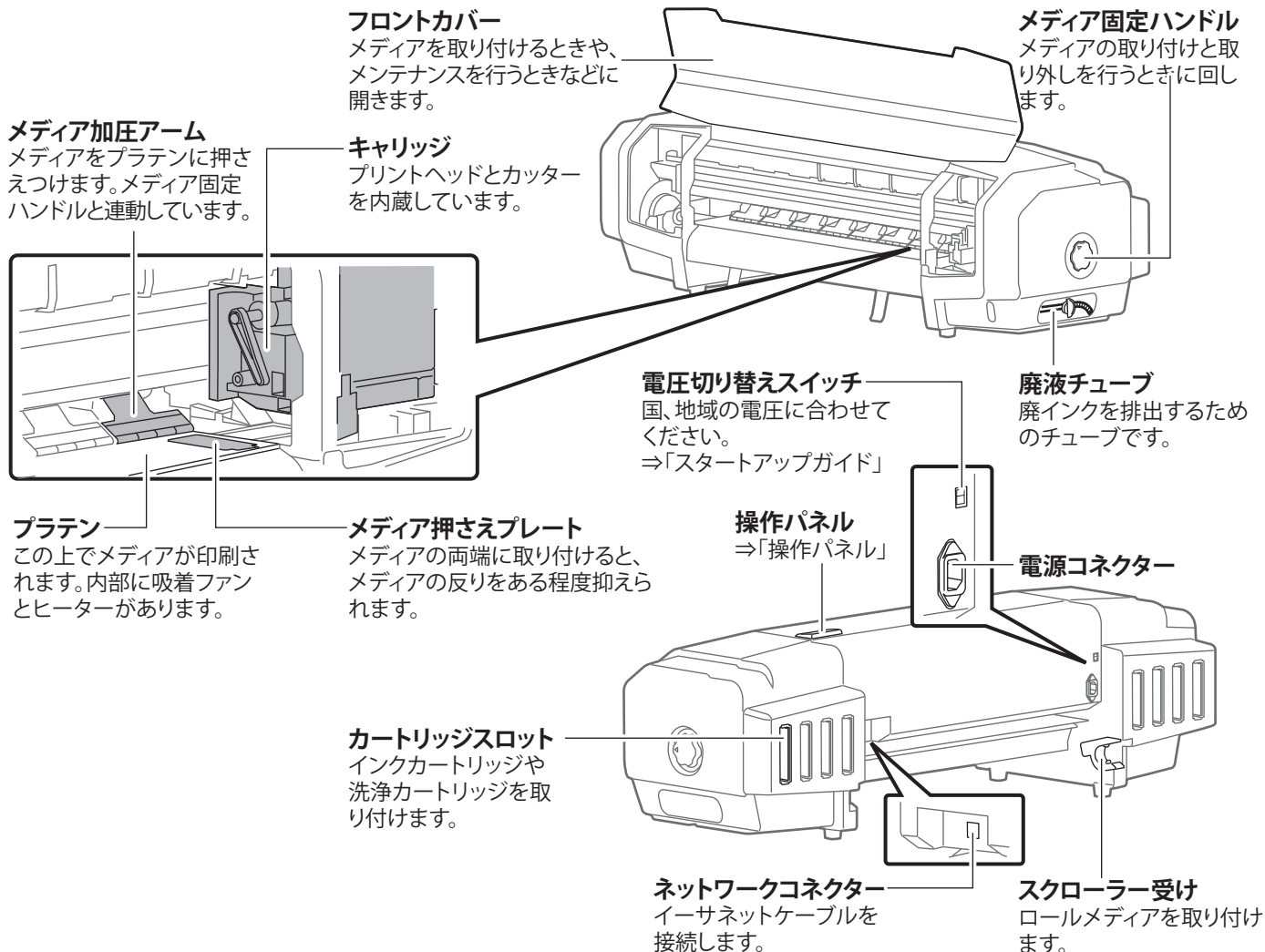
第 1 章 基本的な使い方

| | |
|--|----|
| はじめに | 8 |
| 各部の名称 | 8 |
| 本製品のシステム構成 | 9 |
| プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法 | 10 |
| MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法 | 11 |
| MUTOH LFP Finder の起動方法 | 12 |
| Layout and Print Tool 2 の起動方法 | 12 |
| ヘルプの表示方法 | 13 |
| 使用できるメディアの条件 | 14 |
| ご使用上のお願い | 15 |
| | |
| 電源のオンオフ | 16 |
| 電源をオンにする | 16 |
| 電源をオフにする | 16 |
| | |
| スリープモード | 17 |
| スリープモードの開始と終了 | 17 |
| タイマーのセット方法 | 19 |
| | |
| 印刷する | 20 |
| メディアをセットする | 20 |
| 画質調整 | 22 |
| 用紙送り補正 | 27 |
| ノズルチェックとクリーニング | 32 |
| 印刷を開始する | 35 |
| 印刷の一時停止／再開 | 36 |
| 印刷のキャンセル | 36 |
| | |
| メディアの送り／巻き戻し | 37 |
| プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする | 37 |
| | |
| メディアのカット | 38 |
| 操作パネルからカットする | 38 |
| プリンタードライバー／MSM からカットする | 38 |
| 手でカットする | 39 |
| 自動でカットする | 39 |
| | |
| 大容量パックアダプターについて | 40 |
| はじめて大容量パックアダプターを使用するとき | 40 |
| プラグ交換について | 40 |

はじめに

各部の名称

プリンター本体



操作パネル

電源ボタン

電源オン状態のときは、青く点灯します。

[参考]

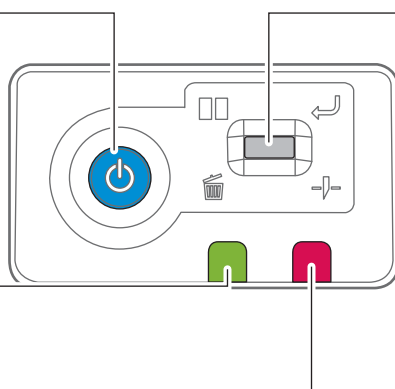
⏻ マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ボタンがオンでなくても、電源ケーブルが接続されていれば微量の電力を消費します。本書では、この状態を「電源オフ」と表記しています。

データLED

緑の点滅で、印刷データの受信・解析中を表示します。

エラーLED

赤の点灯や点滅で、エラーや警告を表示します。カバーが開いているときや、メディア固定ハンドルが解除状態のときも点灯します。



オペレーションキー

状況によって、さまざまな機能になります。

印刷中：
(短押し) 印刷の一時停止 / 再開
(長押し) 印刷のキャンセル (データ削除)

印刷待機中：
(長押し) メディアのカット

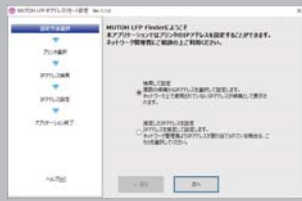
MSMとの連携時で、確定待ちのとき：
(短押し) 確定

ウォームアップ中：
(短押し) 印刷の強制開始

メディアフィード中：
(短押し / 長押し) フィードの停止

エラー発生中：
(短押し) プザー停止

本製品のシステム構成

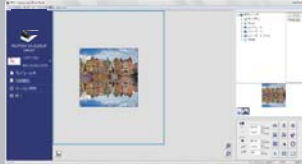
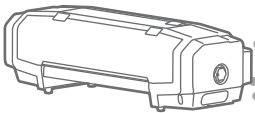


MUTOH LFP Finder

セットアップウィザードご利用時に、ネットワーク上のプリンターを検索し、IPアドレスの設定を行います。(通常は、MUTOH Status MonitorからIPアドレスを変更してください。)

主な機能:

- ・ネットワーク上のプリンターの検索／一覧表示
- ・プリンターのIPアドレスの設定



Layout and Print Tool 2

簡易的な印刷ツールです。

主な機能:

- ・画像をレイアウト
- ・画像と印刷設定を1つのファイルに保存、再利用可能



VSM Mobile

お手持ちのiPhone、Androidの携帯情報端末からプリンターの状況確認やリモート制御を行えます。

主な機能:

- ・ステータスマニター
- ・リモートパネル



プリンタードライバー

Windowsの各OSに対応したプリンタードライバーです。

主な機能:

- ・メディアごとに最適な印刷をするための印刷設定ファイル(メディアプロファイル)をMUTOH Club*1から提供します。このファイルを利用することで、ドライバーをバージョンアップすることなく、新しいメディアに対応することができます。
- ・同じデータをもう一度繰り返す『再印刷』機能を搭載。再印刷時はWindowsとドライバーの処理が不要であるため、通常時より印刷開始が速くなります。
- ・一つの小さなデータを縦横に並べて印刷する『ステップアンドリピート』機能を搭載。
- ・指定したメディア幅に合わせた拡大機能を搭載。



MUTOH Status Monitor (MSM)

プリンタードライバーと連携し、プリンターの状態確認やメンテナンスを行います。また、MUTOH Clubにユーザー登録すれば、常に最新のサービスが提供されます。

主な機能:

- (一部の機能はMUTOH Clubへのユーザー登録とインターネットへの接続が必要です)
- ・ステータスマニター
 - ・リモートパネル

*1 MUTOH Club

ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。

ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。

主な機能:

- ・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
- ・メディアプロファイルのダウンロード
- ・プリンター状態の確認 (MSMのプリンター情報提供サービス使用時)



インターネット



MUTOH Clubサーバー

MUTOH Clubへ接続します。

<https://club.mutoh.co.jp/mutoh/guser>

プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法

[1] Windows 10

[スタート] - [すべてのアプリ] - [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックします。
開いた画面で [デバイスとプリンター] をクリックします。

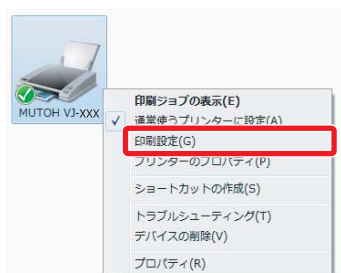
Windows 8 / Windows 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[設定] をクリックします。
[コントロールパネル] - [デバイスとプリンターの表示] の順にクリックします。

Windows 7

[スタート] - [デバイスとプリンター] の順にクリックします。

[2]



本製品のアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

- ・ 初回のみ「プリンタの構成」画面が開きます。
- ・ 2回目以降はプリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。

[3]



インク色数を選択し、[OK] をクリックします。

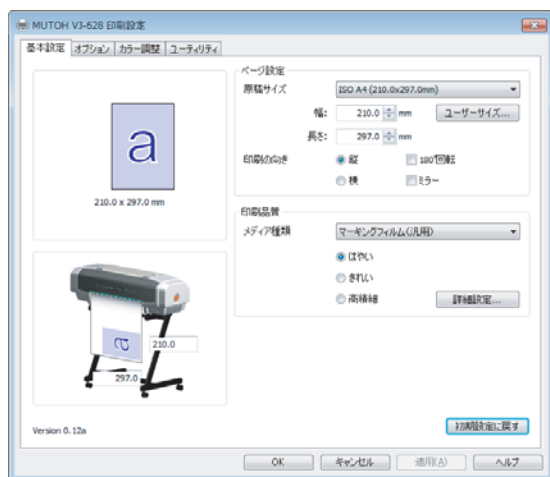
- ・ プリンタードライバーの印刷設定画面が開きます。



Note

左の画面は VJ-628 の場合です。機種により画面が異なります。

☞ 「本マニュアルでの各ソフトウェアの画面について」P.2



VJ-628



VJ-628X

MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法

MUTOH Status Monitor は以下 MSM と記載します。

MSM の起動方法



Windows 8 / Windows 8.1

[スタート] 画面で、[デスクトップ] をクリックします。
デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Windows 10 / Windows 7

デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

Windows のスタートメニューから起動する方法

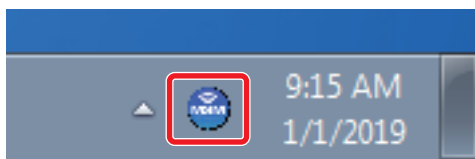
Windows 8 / Windows 8.1

[スタート] 画面のタイトルが表示されていないところで、右クリックしてアプリバーを表示し、[すべてのアプリ] をクリックします。
[MUTOH Status Monitor] をクリックします。

Windows 10 / Windows 7

[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [MUTOH Status Monitor] の順にクリックします。

MSM の表示方法



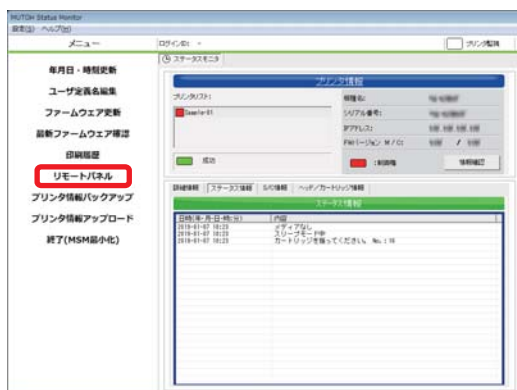
タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

リモートパネルの表示方法

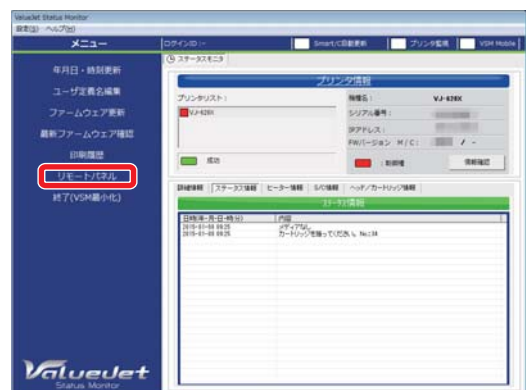
リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

[リモートパネル] をクリックします。

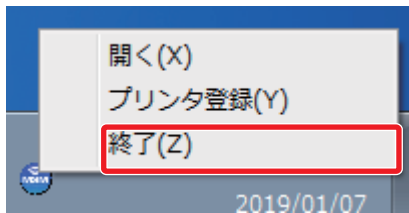
- ・リモートパネルが開きます。



VJ-628



VJ-628X



Windows 8.1

[スタート] 画面の下矢印 をクリックします。

[MUTOH Status Monitor] をクリックします。

タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、[終了] をクリックします。



Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの [設定] - [閉じる] の順にクリックします。

MUTOH LFP Finder の起動方法

MUTOH Status Monitor のプリンター登録機能で、プリンター検索を行うときに起動します。



Note

旧バージョンのセットアップウィザードをご利用された PC には、ValueJet Finder がインストールされています。この場合は、ValueJet Finder をアンインストールしてください。

Layout and Print Tool 2 の起動方法

Windows 8 / Window 8.1

デスクトップ上でチャームバーを表示し、[検索] をクリックします。

[Layout Tool 2] と入力し、 をクリックします。

検索結果に表示された [Layout and Print Tool 2] のアイコンをクリックします。

Windows 10 / Windows 7

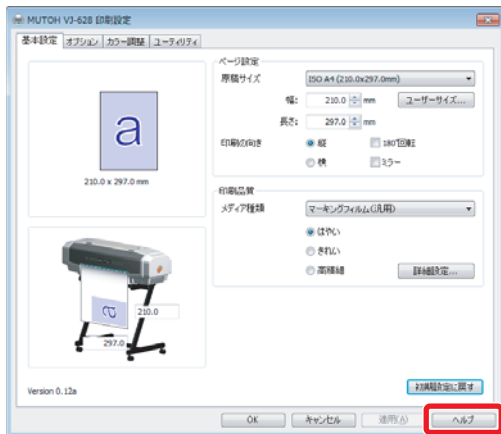
[スタート] メニューから [すべてのプログラム (または [すべてのアプリ])] - [MUTOH] - [Layout and Print Tool 2] の順にクリックします。

ヘルプの表示方法

プリンタードライバーと MUTOH LFP Finder はヘルプをご利用いただけます。

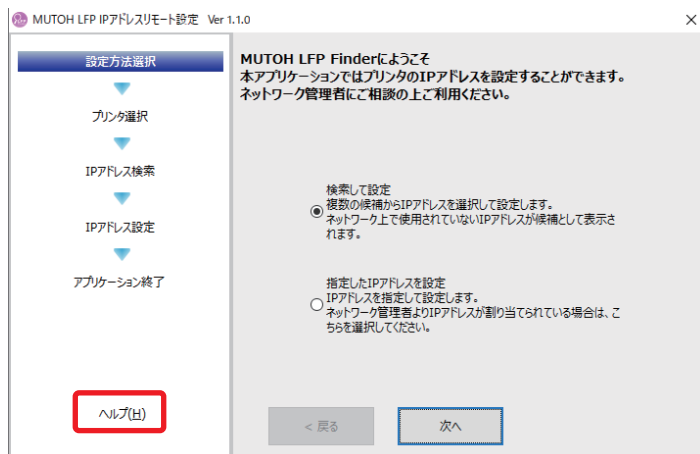
プリンタードライバー

プリンタードライバーの印刷設定画面を表示し、[ヘルプ] をクリックします。



MUTOH LFP Finder

MUTOH LFP Finder を起動し、[ヘルプ] をクリックします。



使用できるメディアの条件

本製品は、ロールメディアを使用することができます。

使用可能サイズ

| | | |
|-------|--------------|------------------------|
| 最大幅 | | 630 mm (紙管>メディア幅なら紙管幅) |
| 最大厚さ | ヘッド高さ Low 時 | 0.3 mm |
| | ヘッド高さ High 時 | 1.3 mm |
| ロール外径 | | 150 mm |
| 紙管径 | | 2 インチまたは 3 インチ |
| 重量 | | 9 kg 以下 |

メディア取り扱い上のご注意

- 温度・湿度によるメディアの伸縮にご注意ください。
未開封のメディアは、開封後、約 30 分間放置して環境に慣らしてください。
- 折り目、傷、破れ、反り、巻き癖や、巻きずれのあるメディアは使用しないでください。
- ロールメディアを本製品にセットした状態で、長時間放置しないでください。
癖がつき印刷に適さなくなることがあります。
長時間使用しない場合は、ロールメディアは取り外し、元の梱包箱に入れて保管してください。

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください (VJ-628X)

VJ-628X でメタリックインクとホワイトインクをご使用の場合は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにすると、本製品は定期的に本体内部のインクを循環し、ヘッドクリーニングを自動で行います。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

インクカートリッジを振ってください (VJ-628X)

VJ-628X でメタリックインクとホワイトインクのインクカートリッジは使用する前に振ってください。それらのインクカートリッジは定期的に振る必要があります。放置するとカートリッジ内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

定期的に使用してください

本製品は 1 週間に 1 度は使用することをおすすめいたします。長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期メンテナンスを実施してください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前と後に、ノズルチェックを行ってください。
ノズル抜けがある場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- 1 週間に 1 度はクリーニングワイパーを清掃してください。
- 長時間 (1 週間以上) 使用しない場合は、1 週間に 1 度ヘッドクリーニングを行ってください。
- 1 か月に 1 度は内部の清掃を行ってください。
- 廃液タンクの廃インクを定期的に排出してください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

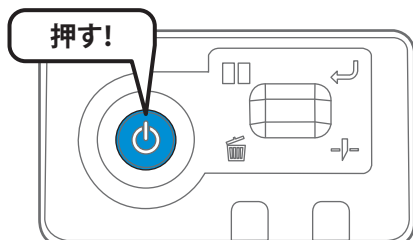
- ユーザーによる交換が必要な部品：フラッシングボックス用吸収材、カッター
- サービスマンによる交換が必要な部品：各種モーター、プリントヘッド

電源のオンオフ

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

[2]



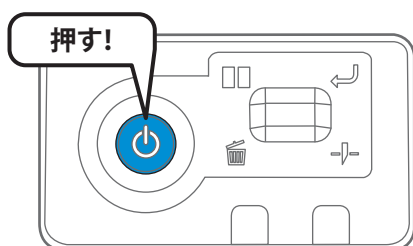
本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが点灯します。
- ・本製品が初期動作を開始します。

電源をオフにする

[1] 印刷が終わっていることを確認します。

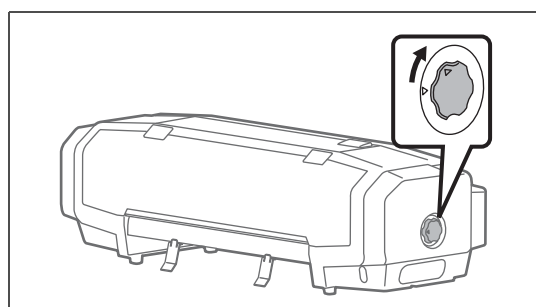
[2]



本製品の電源ボタンを押します。

- ・青色のランプが消灯します。
- ・本製品が電源オフ動作を開始します。

[3]



メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

Note

電源オフにかかわらず、本製品を使用しないときは、メディア固定ハンドルのロックを解除しておいてください。

Important!

VJ-628X でメタリックインクとホワイトインクをご使用の場合は、電源を常時オンにしてご使用ください。

使わないときは電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。

スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

スリープモード

メタリックインクやホワイトインクをご使用の場合は、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- ・タイマーセットメニューで設定した時間が経過すると、自動でヘッドクリーニングを行う。
- ・プリンター内にあるメタリックインク、ホワイトインクを循環する（3.5時間ごと、VJ-628Xのみ）

Important!

スリープモードを7日間以上継続する場合は、7日間の経過した時点で以下を行ってください。

- ・インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。
- ・メタリックインクとホワイトインクのインクカートリッジを振ってください（VJ-628X）。
- ・ノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。


スリープモードの開始と終了

1. スリープモードの開始方法

- [1] 製品の動作状態について以下を確認します。
- ・フロントカバーが閉じていること。
 - ・インクカートリッジの残量が十分にあること。
 - ・廃液タンクの空き容量が十分にあること。

Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃インクを排出してください。

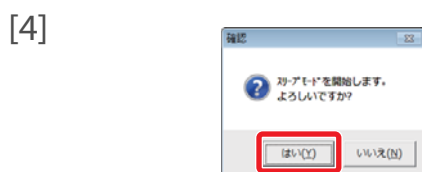
- [2] MSMのリモートパネルを起動します。
-  「リモートパネルの表示方法」P.11



- [スリープモード] - [スタート] をクリックします。
- ・確認ウィンドウが開きます。

Note

- ・左の画面は VJ-628X の場合です。機種により画面が異なります。
- ・プリンタードライバーからもスリープモードを開始できます。



- [はい] をクリックします。
- ・スリープモードを開始します。

Note

スリープモード中は、データ LED が点滅します。

2. スリープモードの終了方法

[1]



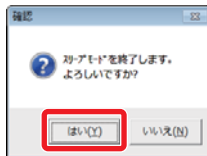
スリープモードを終了するには、スリープモード中に [スリープモード] - [ストップ] をクリックします。

- ・ 確認ウィンドウが開きます。

 Note

左の画面は VJ-628X の場合です。機種により画面が異なります。

[2]



[はい] をクリックします。

- ・ スリープモードを終了します。


 Note


本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充電を行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。


タイマーのセット方法

- ・ [タイマーセット]：スリープモード中に自動でヘッドクリーニングを行う間隔を設定できます。
- ・ [オートタイマー]：待機状態から自動でスリープモードに入る前の時間を設定できます。
このメニューは、VJ-628X でメタリックインクやホワイトインクをセットしていると表示されます。

手順

- [1]  スリープモード中のクリーニング間隔を変更する場合は、[スリープモード] - [タイマーセット] から時間を選択します。


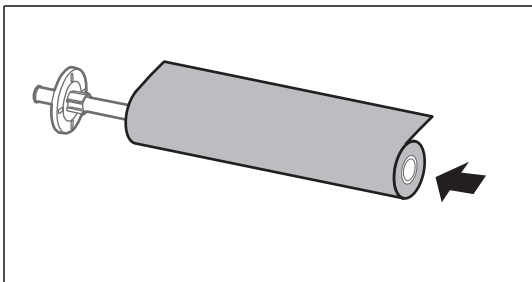

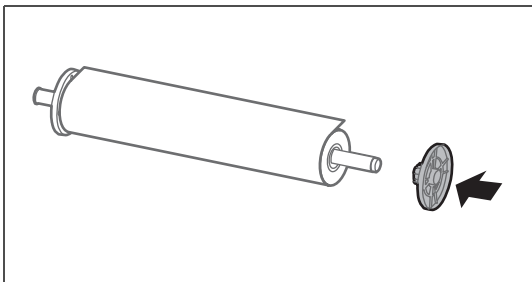
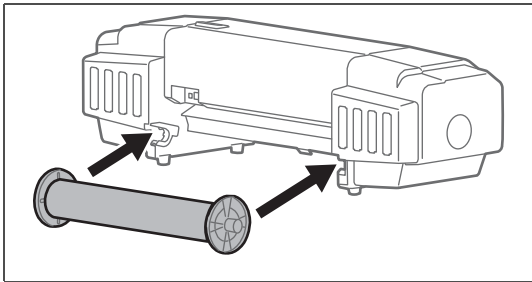

- [2]  自動でスリープに入るまでの時間を変更する場合は、[スリープモード] - [オートタイマー] から時間を選択します。

- [3]  [変更] をクリックします。
・ タイマーがセットされます。

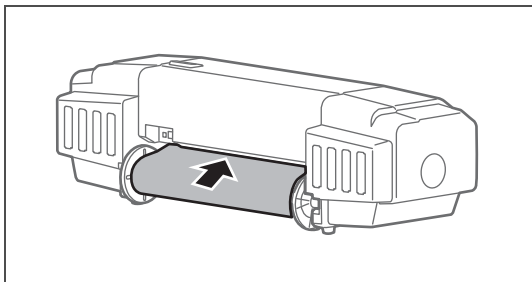
Note

ヘッドクリーニングの強さは、MSM のリモートパネルの [詳細設定] タブにある、[クリーニング種類] で変更できます。

メディアをセットする

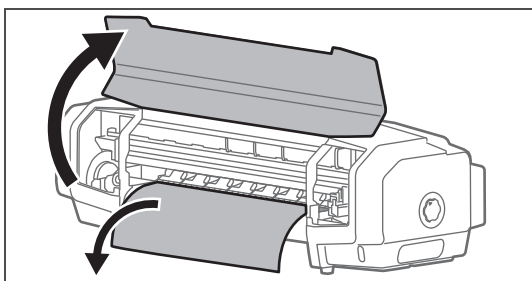
- [1]  スクローラーから、3 インチアダプターとメディアストッパー（可動）を取り外します。
-  **Note**
- 紙管径が 3 インチのロールメディアを使用するときは、3 インチアダプターをつけたままにしておいてください。
- [2]  ロールメディアをスクローラーに取り付けます。
-  **Note**
- メディアの巻き方向が、この図と同じになるように取り付けてください。
 - メディアストッパー（固定）とすき間ができないように、ロールメディアを押し込んでください。
- [3]  メディアストッパー（可動）をロールメディアとのすき間がなくなるまで押し込みます。
- [4]  スクローラーをスクローラー受けに取り付けます。
-  **Note**
- 本製品を背面から見たときに、メディアストッパー（可動）が右側になるように取り付けてください。
- [5]  メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

[6]



給紙スロットにロールメディアを通します。

[7]



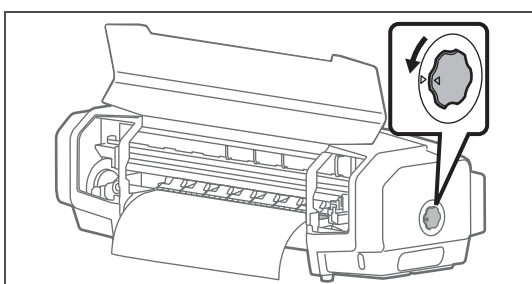
- ・フロントカバーを開きます。
- ・ロールメディアを本製品の側から引き出します。



Note

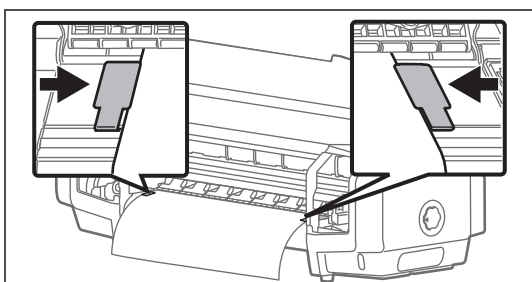
メディアがたるんだ場合は、スクローラーを巻き戻して、たるみをなくしてください。

[8]



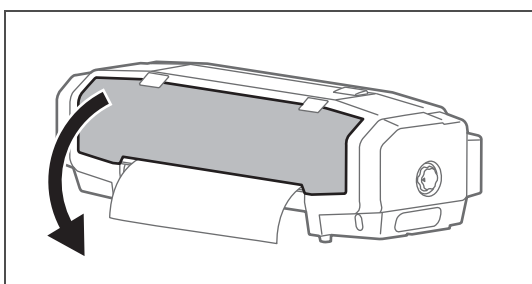
メディア固定ハンドルを回して、ロックします。

[9]



- メディア押さえプレートをメディアにセットします。
- ・プラテンの両側からスライドし、セットしてください。

[10]



フロントカバーを閉じます。

画質調整

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- 本製品をはじめて使用するとき。
- メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「ノズルチェックとクリーニング」P.32 に進んでください。

この調整は、双方向印刷時にできる印刷のズレを補正します。

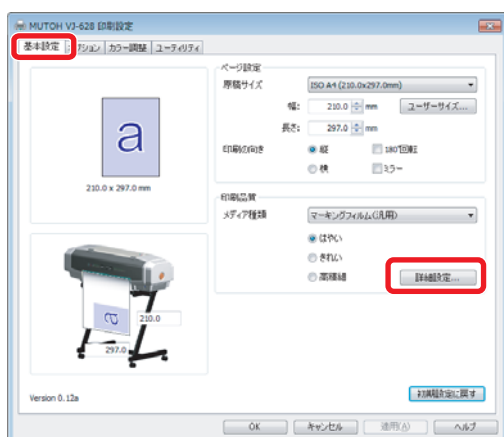
双方向印刷について

印刷中に、プリントヘッドはメディア上を往復します。このとき、往路と復路の両方で印刷することを「双方向印刷」と呼びます。双方向印刷をすると印刷速度が早くなりますが、印刷のつなぎ目にわずかなズレができます。「画質調整」は、このズレを補正します。

双方向印刷の設定方法

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2] [基本設定] タブの [詳細設定] をクリックします。



- [3] [双方向印刷] にチェックを入れます。



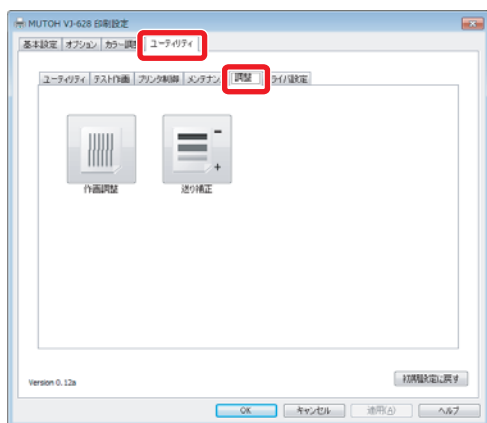
Note

通常はチェックが入っています。

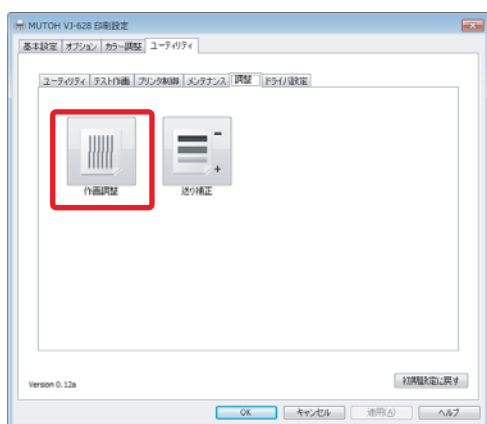
1. メディア厚さの入力

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2] [ユーティリティ] タブの [調整] タブをクリックします。



- [3] [作画調整] をクリックします。
・MSMのリモートパネルが起動します。

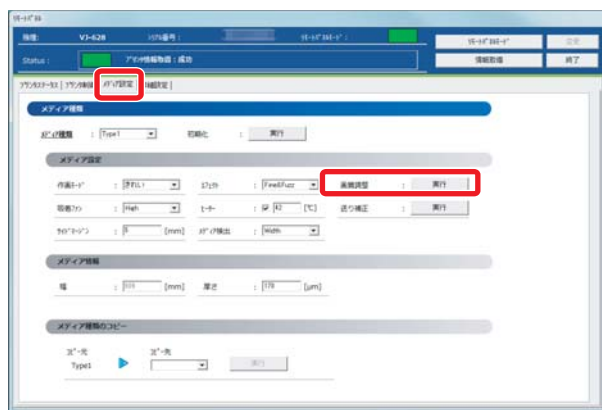


Note

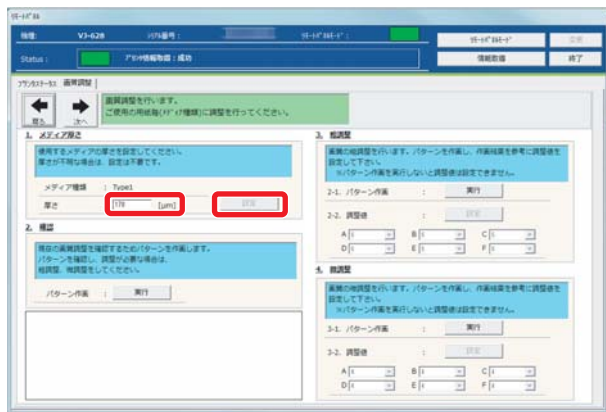
MSMは直接起動することができません。

☞ 「MSMの起動方法」P.11

- [4] [設定] タブの [作画調整] で [実行] をクリックします。
・[作画調整] ウィンドウが開きます。

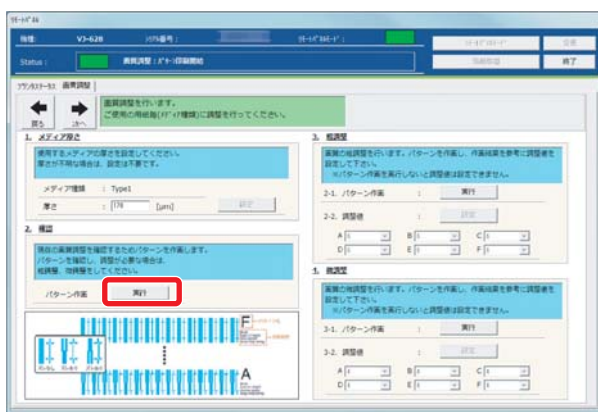


- [5] [1.メディア厚さ] で [厚さ] ([μm]) を入力し、[設定] をクリックします。
 ・セットしたメディアの厚さを入力してください。

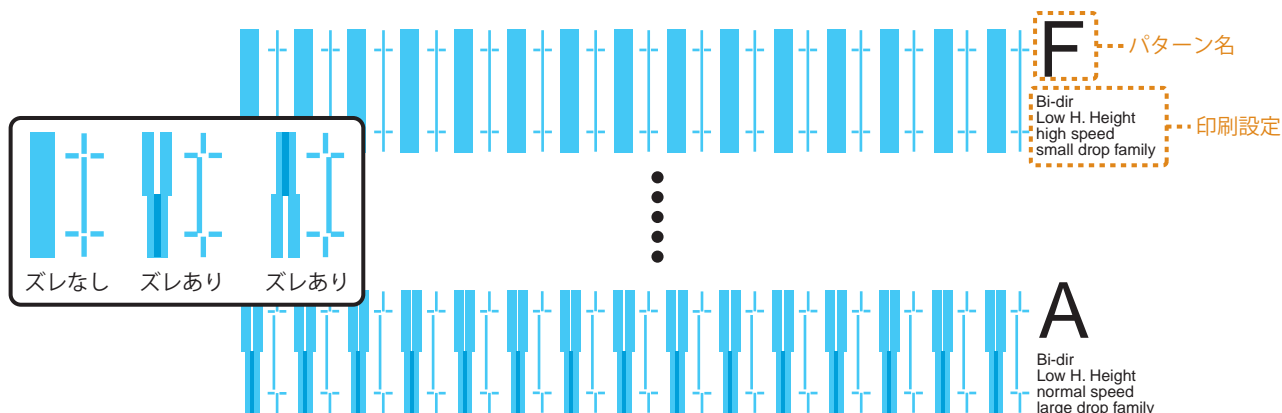


2. 画質の確認

- [1] [2.確認] で [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



- [2] パターン A からパターン F を見て、ズレがあれば「画質粗調整」P.25 に進みます。
 ・下の例では、パターン A にズレがあります。

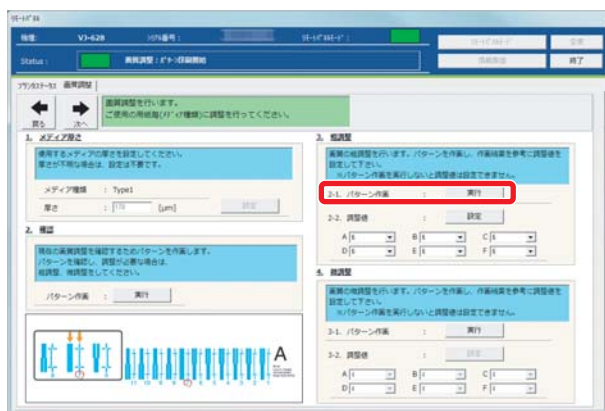


Note

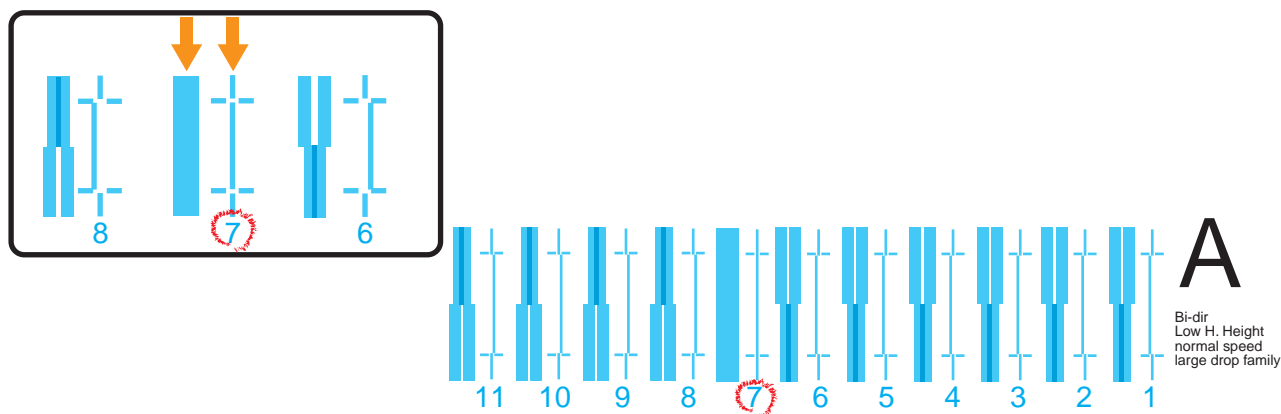
例は 4 色設定時のものです。6 色～8 色設定時はパターン色がマゼンタ（赤系の色）になります。
 画質粗調整、画質微調整のパターン色も同様です。

3. 画質粗調整

- [1] [3.粗調整] で [3-1 パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



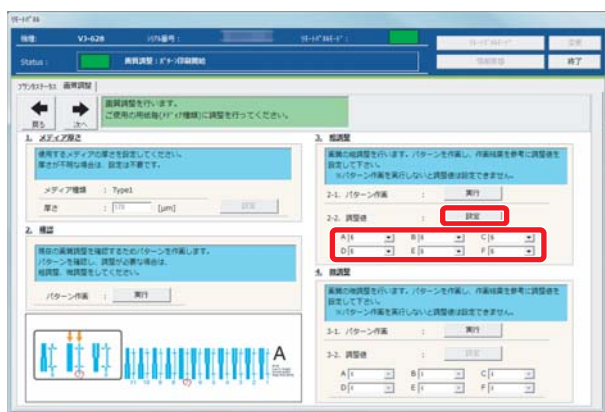
- [2] パターン A の中で、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
 ・メディアの両端と中央に同じパターン (A ~ F) が繰り返し印刷されています。



 Note

同じパターン名でも、メディアの両端と中央ではズレがない番号が違ふことがあります。
 その場合は、平均するともっともズレが少なく思える番号を探してください。

- [3] B から F のパターンについても同様に、番号に印をつけます。
 [4] 印をつけた値を、[3.粗調整] で、[3-2 調整値] の A から F に入力して、[実行] をクリックします。
 ・「[画質微調整](#)」P.26 に進みます。

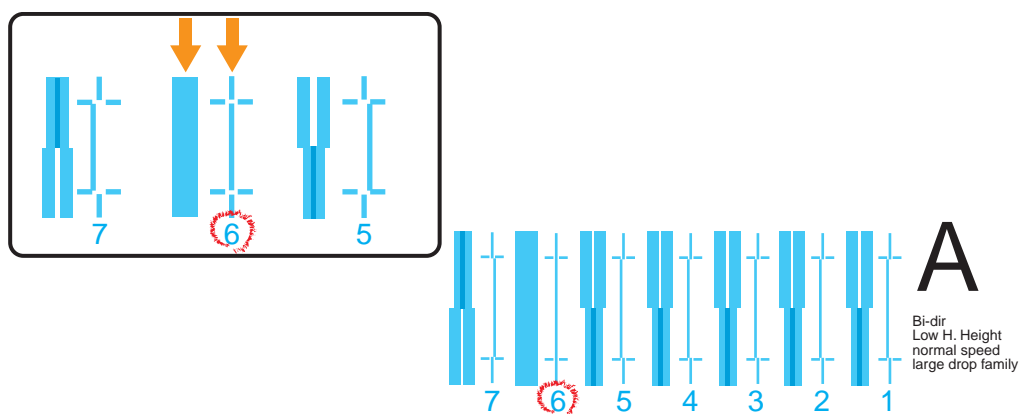


4. 画質微調整

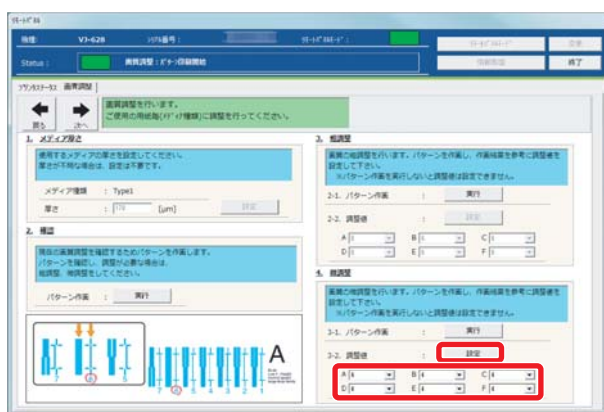
- [1] [4. 微調整] で [4-1 パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターン A から F を印刷します。



- [2] 「3. 画質粗調整」と同様に、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
 ・A から F のパターンについて行います。



- [3] 印をつけた値を、[4. 微調整] で、[4-2 調整値] の A から F に入力して、[実行] をクリックします。
 ・画質調整が完了しました。



用紙送り補正

次の場合には、この調整をかならず行ってください。

- 本製品をはじめて使用するとき。
- メディアの種類を変更するとき。

それ以外の場合は、「[ノズルチェックとクリーニング](#)」P.32 に進んでください。

この調整には定規を使用します。市販の定規をご用意ください。

Note

印刷結果に次のような不具合があるときも、用紙送り補正を行うと改善する場合があります。

- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

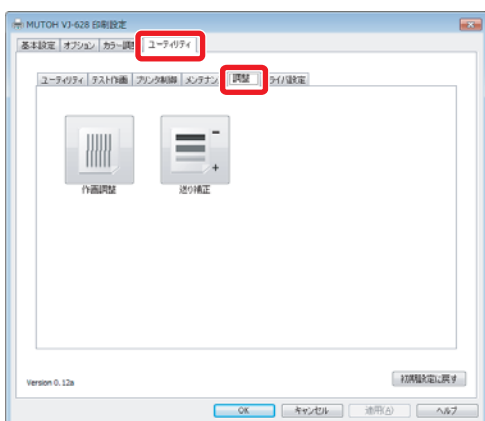
用紙送り補正の手順

1. 初期調整

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

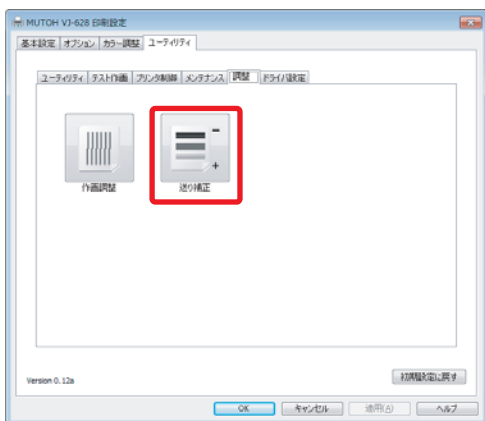
 「[プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法](#)」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [調整] タブをクリックします。

- [3]



[送り補正] をクリックします。

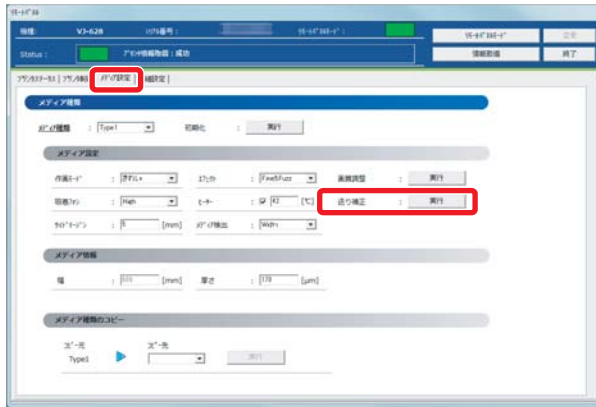
- MSM のリモートパネルが起動します。

Note

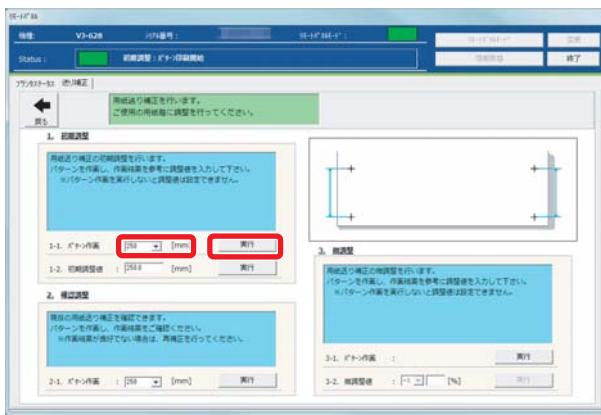
MSM は直接起動することができます。

 「[MSM の起動方法](#)」P.11

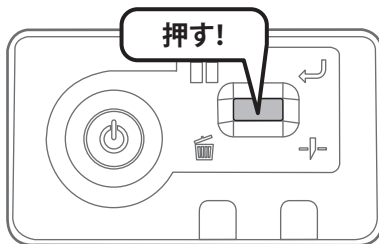
- [4] [設定] タブの、[送り補正] で [実行] をクリックします。
 ・ [送り補正] ウィンドウが開きます。



- [5] [1. 初期調整] で、[1-1. パターン作画] の長さ ([mm]) を選択し、[実行] をクリックします。
 ・ 用意した定規で測れる長さを選択してください。パターンを長くすると精度が向上します。
 ・ パターンを印刷します。



[6]

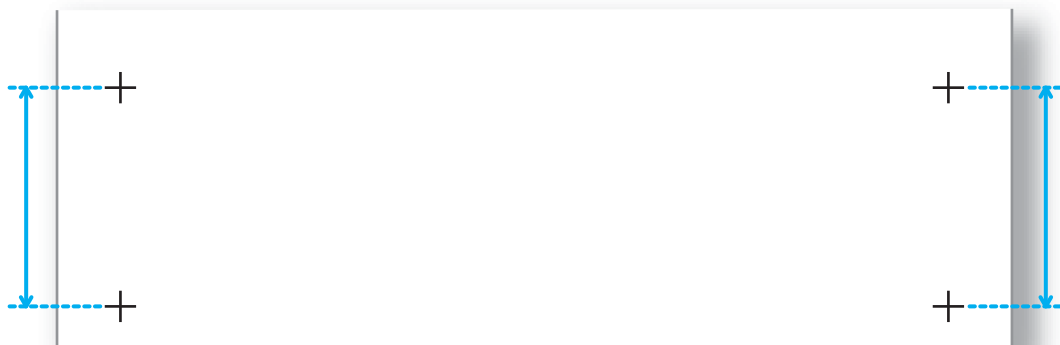


メディアをカットします。

- ・ 操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
- ・ 本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

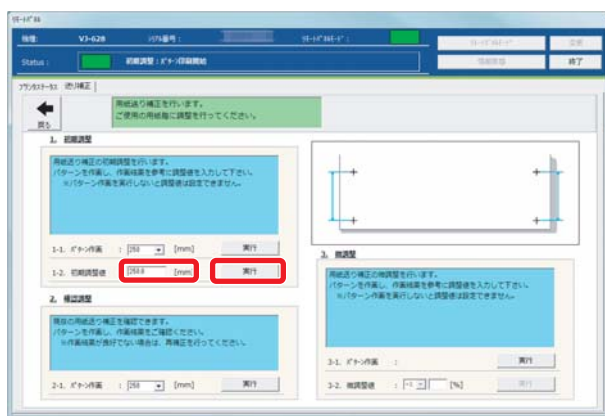
[7] 定規で、パターンの「+」間の長さを測ります。

- ・ 下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。



[8] 測った長さを、[1-2. 初期調整値] の長さ ([mm]) に入力し、[実行] をクリックします。

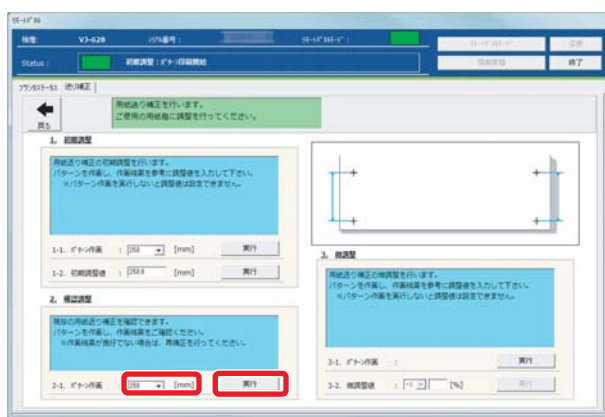
- ・初期調整値が保存されます。
- ・「[確認調整](#)」P.29 に進んでください。



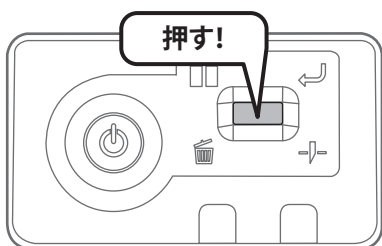
2. 確認調整

[1] [2. 確認調整] で、[2-1. パターン作画] の長さ ([mm]) を選択し、[実行] をクリックします。

- ・パターンを印刷します。



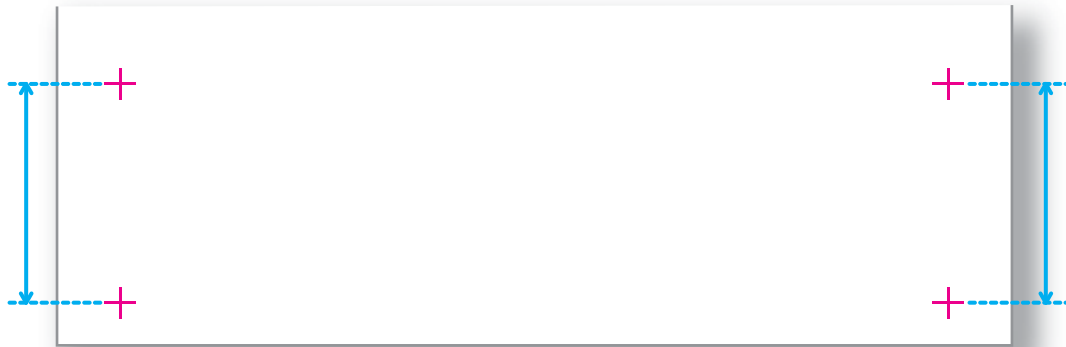
[2]



メディアをカットします。

- ・操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
- ・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

- [3] 定規などで、パターンの「+」間の長さを測ります。
 ・下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。



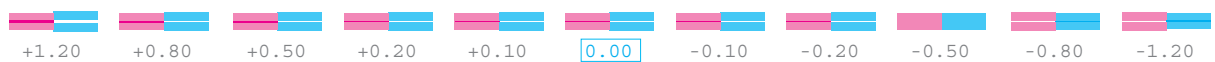
- [4] 測った長さを確認します。
 ・測った長さが、手順1で選択した長さとは合っている場合は、「[微調整](#)」P.30に進んでください。
 ・測った長さが、選択した長さとは合っていない場合は、「[初期調整](#)」P.27で再補正を行ってください。

3. 微調整

- [1] [3. 微調整] で、[3-1. パターン作画] の [実行] をクリックします。
 ・パターンを印刷します。



- [2] パターンを見て、微調整値を確認します。
 ・パターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。
 ・そのパターンの下にある数字が、微調整値です。



[3] 手順2で確認した値を、[3-2. 微調整値]に入力し、[実行]をクリックします。

- ・ 微調整値を保存します。
- ・ 用紙送り補正が完了しました。



 Note

手順3で保存した微調整値が、パターン基準値になります。例えば微調整値に「-0.50」を保存した場合、もう一度パターンを印刷すると、中心のパターンの下にある数字は「0.00」から「-0.50」になり、左端は「+0.70」、右端は「-1.70」になります。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

1. ノズルチェックの手順

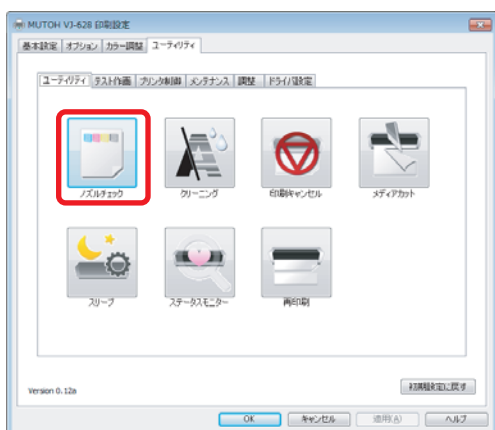
ホワイトインク不使用時

ホワイトインクをセットしていない場合は、以下の手順でノズルチェックをしてください。

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[ノズルチェック] をクリックします。

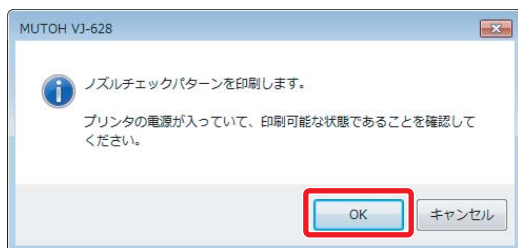
- ・確認ウィンドウが開きます。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

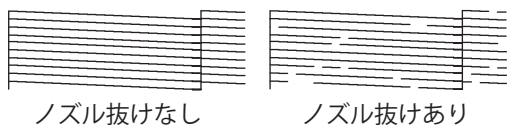
- [3]



[OK] をクリックします。

- ・パターンを印刷します。

- [4]



パターンを確認します。

- ・ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P.34 に進みます。
- ・ノズル抜けがない場合は「印刷を開始する」P.35 に進みます。

ホワイトインク使用時

ホワイトインクをセットしている場合は、通常のノズルチェックに加えてホワイトインク用のノズルチェックが選択できます。

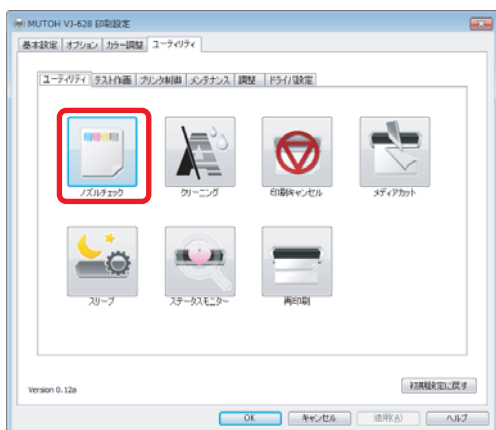
色背景（ノズルチェック B）を選択すると、ホワイトインクのノズルの状態が見やすいよう、一部のノズルチェックパターンの背景に色を付けて印刷します。

- ホワイトのノズルの一部の背景が黒になります。
- ホワイトのノズルの一部は背景なしになります。
- それ以外のノズルは背景が白になります。

[1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

[2]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[ノズルチェック] をクリックします。

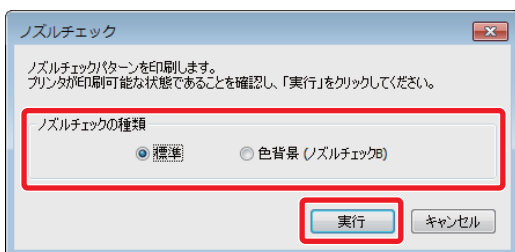
- 選択ウィンドウが開きます。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

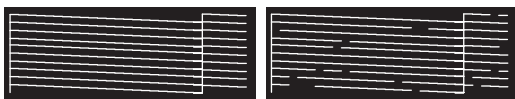
[3]



ノズルチェックの種類を選択して [実行] をクリックします。

- 標準
通常のノズルチェックパターンを印刷します。
- 色背景（ノズルチェック B）
ホワイトインク用のノズルチェックパターンを印刷します。

[4]



ノズル抜けなし

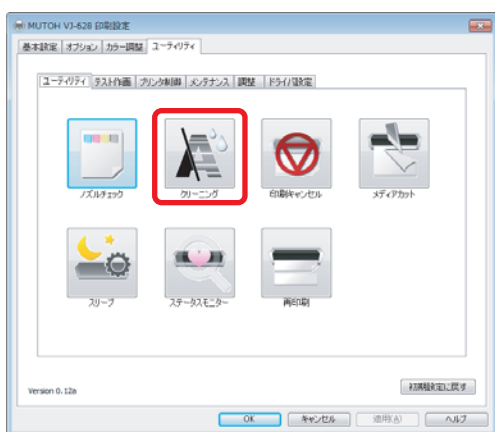
ノズル抜けあり

パターンを確認します。

- 左図は「色背景（ノズルチェック B）」選択時のイメージです。
- ノズル抜けがある場合は、「[クリーニングの手順](#)」P.34に進みます。
- ノズル抜けがない場合は「[印刷を開始する](#)」P.35に進みます。

2. クリーニングの手順

[1]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[クリーニング] をクリックします。

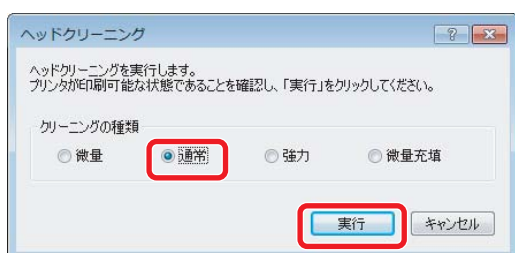
- ・「ヘッドクリーニング」ウィンドウが開きます。



Note

MSM のリモートパネルでも同じことができます。

[2]



[通常] を選択して、[実行] をクリックします。

- ・クリーニングを開始します。

[3]

もう一度、ノズルチェックを行います。

 「ノズルチェックの手順」P.32

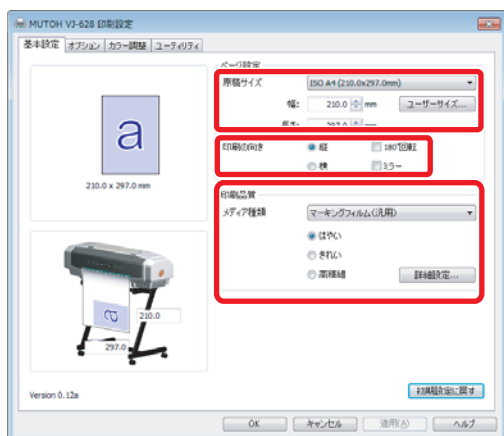
- ・ノズル抜けがなおらない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。「微量」「強力」「微量充填」については、「ヘッドクリーニング」P.58 を参照してください。

印刷を開始する

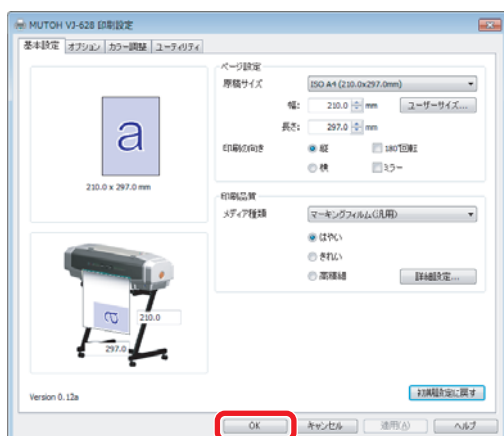
ここではプリンタードライバーから印刷する方法を説明します。

- [1] 印刷を実行するアプリケーションソフトで印刷データを開きます。
- [2] アプリケーションソフトで本製品のプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。

- [3] 印刷設定を行います。
 - ・「原稿サイズ」「印刷の向き」「印刷品質」を設定します。

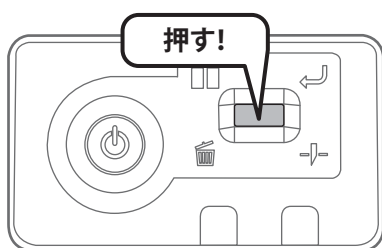


- [4] [OK] をクリックします。



- [5] 印刷を実行します。
- [6] メディアをカットします。
 - ☞ 「メディアのカット」P.38

印刷の一時停止／再開



印刷中に、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・印刷が一時停止します。
- ・もう一度オペレーションキーを押すと、印刷が再開します。

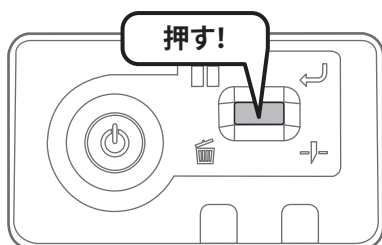
Note

- ・本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- ・印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。

👉 「印刷のキャンセル」P.36

印刷のキャンセル

操作パネルから印刷をキャンセルする



印刷中に、操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。

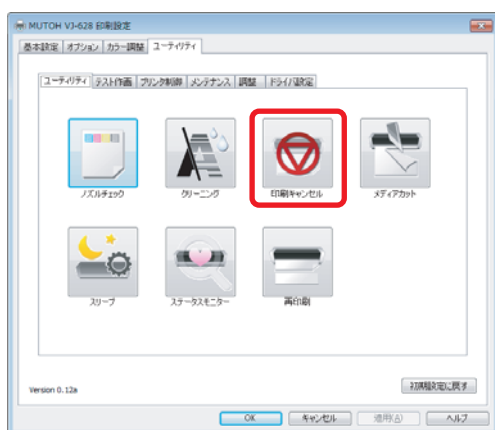
- ・印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
- ・本製品に送信された印刷データを削除します。

プリンタードライバー／MSM から印刷をキャンセルする

- [1] 印刷中に、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

👉 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[印刷キャンセル] をクリックします。

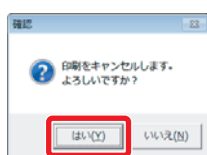
- ・MSM のリモートパネルが起動します。
- ・「確認」ウィンドウが開きます。

Note

MSM は直接起動することができます。

👉 「MSM の起動方法」P.11

- [3]



[はい] をクリックします。

- ・印刷をキャンセルします。

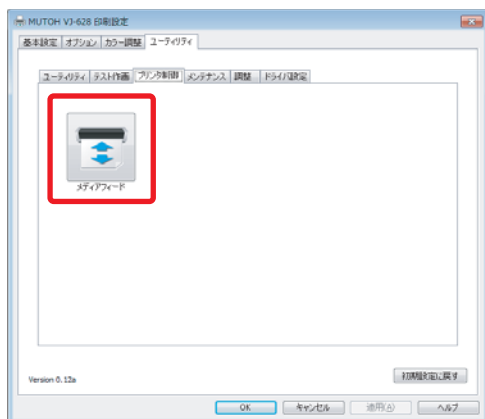
メディアの送り／巻き戻し

プリンタードライバー／MSM からメディアの送り／巻き戻しをする

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [プリンタ制御] タブで、[メディアフィード] をクリックします。

- ・MSM のリモートパネルが起動します。

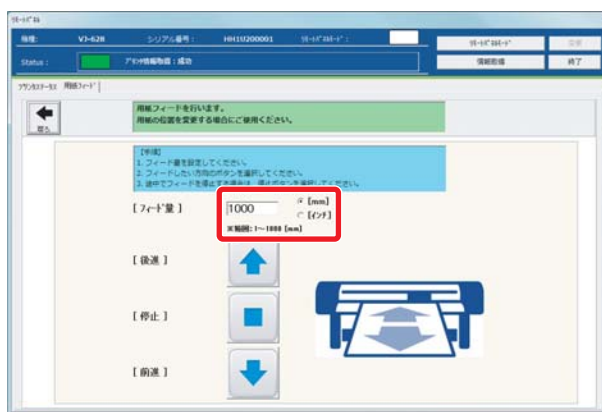
Note

MSM は直接起動することができます。

☞ 「MSM の起動方法」P.11

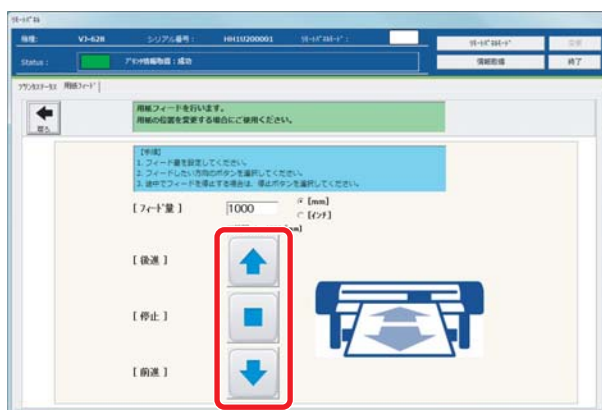
- [3] [フィード量] を入力します。

- ・[フィード量] の単位は、[mm] と [インチ] から選択できます。
- ・[フィード量] に入力した長さのメディアを送り／巻き戻しします。



- [4] [前進] / [後進] をクリックすると、メディアの送り／巻き戻しをします。

- ・送り／巻き戻し動作中に [停止] をクリックすると、動作を停止します。
- ・操作パネルのオペレーションキーを押しても、動作を停止します。

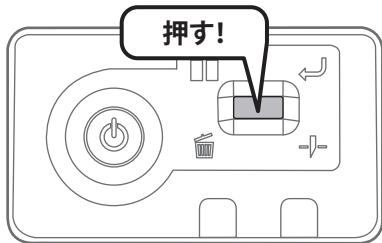


メディアのカット

操作パネルからカットする

[1] 印刷が終了していることを確認します。

[2]



操作パネルのオペレーションキーを2秒以上長押しします。
・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

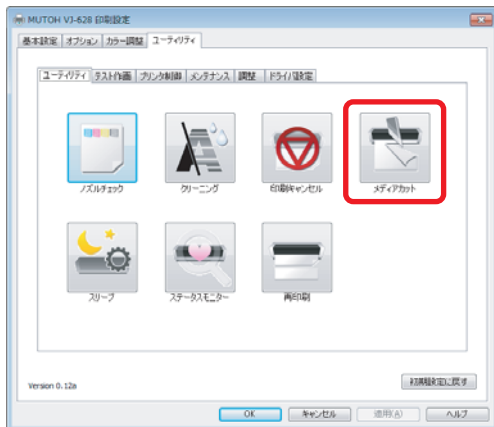
プリンタードライバー／MSM からカットする

[1] 印刷が終了していることを確認します。

[2] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

[3]



[ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[メディアカット] をクリックします。

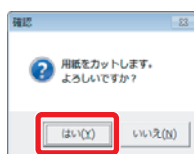
- ・MSMのリモートパネルが起動します。
- ・「確認」ウィンドウが開きます。

Note

MSMは直接起動することができます。

☞ 「MSMの起動方法」P.11

[4]



[はい] をクリックします。

- ・本製品に内蔵されたカッターがメディアをカットします。

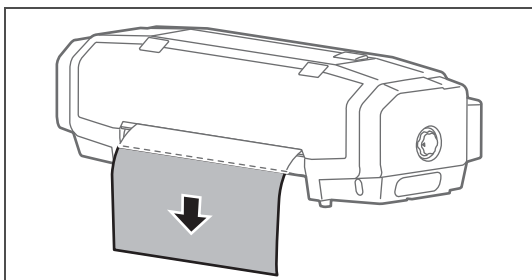
手でカットする

本製品に内蔵されたカッターでカットできないメディアは、以下の手順でカットしてください。

[1] 印刷が終了していることを確認します。

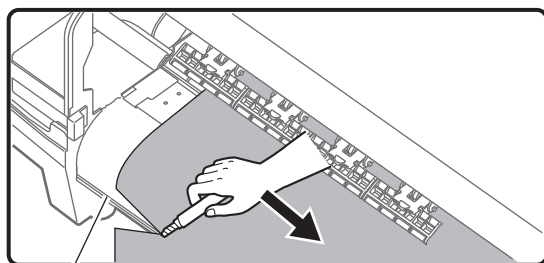
[2] 印刷結果をカットできる位置まで、メディアを送ります。

☞ 「メディアの送り／巻き戻し」P.37

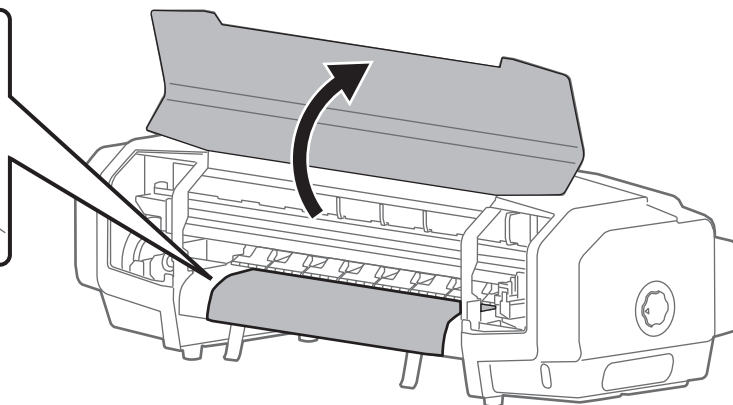


[3] フロントカバーを開き、市販のカッターでメディアをカットします。

・メディアカット溝に沿って、カットしてください。



メディアカット溝



[4] フロントカバーを閉じます。

自動でカットする

本製品は、印刷が終了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。

設定方法は以下をご覧ください。

☞ 「オートカットの設定」P.44

大容量パックアダプターについて

大容量パックアダプターへの 1,000 ml インクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご覧ください。

はじめて大容量パックアダプターを使用するとき

大容量パックアダプター内の空気がプリンターのインクチューブに入り、ノズル抜けの原因となるため、下記の場合はかならずプリンタードライバーまたは **MSM** のリモートパネルから初期充てんを行ってください。

- ・ インク充てん済みのプリンターに、はじめて大容量パックアダプターを取り付けた後
- ・ これまで大容量パックアダプターをご使用の場合で、大容量パックアダプター自体を新品に交換し、プリンターに取り付けた後

初期充てんの手順については、以下をご覧ください。

 [「初期充てんの方法」P.76](#)

プラグ交換について

大容量パックアダプターは、一定回数抜き差しをすると、プラグの交換が必要になります。

関連する手順については、以下をご覧ください。

 [「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.69](#)

第2章 くわしい使い方

| | |
|---------------------|----|
| ヘッド高さを変更する | 42 |
| 加圧アームを個別に解除する | 43 |
| くわしい設定方法 | 44 |
| オートカットの設定 | 44 |
| 吸着ファンの設定 | 46 |
| ヒーターの設定 | 47 |
| ホワイトメンテナンスの設定 | 48 |

ヘッド高さを変更する

メディアが反っていたり、インクを大量に使う印刷をするときは、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、プリントヘッドの高さを高くすると改善する場合があります。

プリントヘッドの高さを変えたときは、かならず画質調整を行ってください。

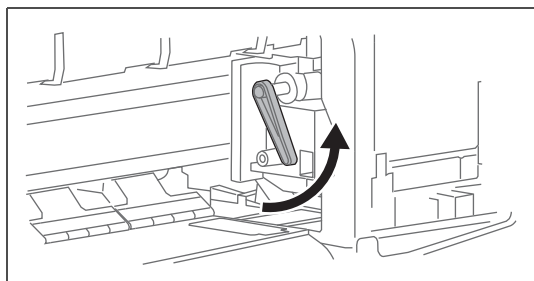
Note

- メディアが反っていると、浮き上がっている部分がプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。
- インクを大量に含んだメディアがふやけて浮き上がると、プリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。

手順

[1] フロントカバーを開きます。

[2]



レバーを上げて、ヘッド高さを高くします。

[3] フロントカバーを閉じます。

[4] 画質調整を行います。

👉 [「画質調整」P.22](#)

Important!

印刷中にプリントヘッドの高さを変更しないでください。

加圧アームを個別に解除する

薄いメディアやコシのないメディアに印刷するとき、メディアがプリントヘッドとこすれて汚れることがあります。そのようなときは、メディアの両端を押さえている加圧アームを解除すると改善する場合があります。

加圧アームを個別に解除したときは、かならず用紙送り補正を行ってください。

Note

- 薄いメディアやコシのないメディアは、印刷時にシワになりやすい傾向があります。シワがプリントヘッドの下面に接触して、メディアが汚れます。メディア両端の加圧アームを解除するとシワの防止に効果があります。
- 薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めることも、シワの防止に効果があります。

👉 「吸着ファンの設定」P.46

手順

[1] フロントカバーを開きます。

[2]  メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

[3]  メディアの両端にある加圧アームを解除します。
・解除スイッチを奥に押し込むと解除できます。

[4] フロントカバーを閉じます。

[5] 用紙送り補正を行います。

👉 「用紙送り補正」P.27

Note

メディアの汚れがなくなるときは、解除する加圧アームの数を増やすと改善する場合があります。そのとき加圧アームは左右均等の数を解除してください。

くわしい設定方法

ご使用に合わせて、本製品の設定を変更することができます。

ここで紹介する機能はごく一部です。

各ソフトの使用方法は、ソフトのヘルプまたはマニュアルをご覧ください。

👉 「ヘルプの表示方法」P.13

オートカットの設定

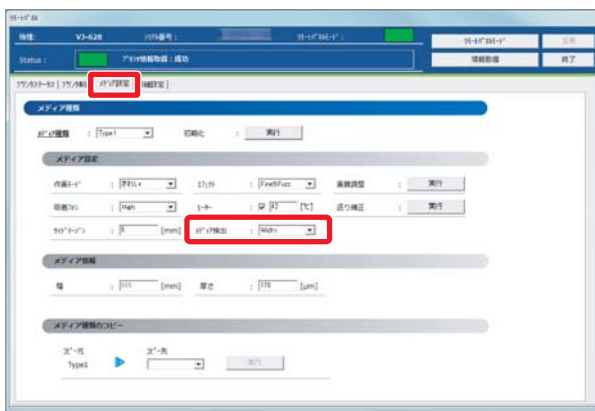
印刷が完了すると自動でメディアをカットするように設定することができます。
メディアの幅、厚さ、材質などに合わせて設定します。

Note

用紙によっては、カットできない場合があります。その場合は手動でカットしてください。

手順

- [1] MSM のリモートパネルを起動します。
👉 「リモートパネルの表示方法」P.11
- [2] [メディア設定] タブの [メディア検出] メニューで [オフ] 以外を選択します。



- [3] [詳細設定] タブの [排紙モード] メニューで [オートカット] を選択します。



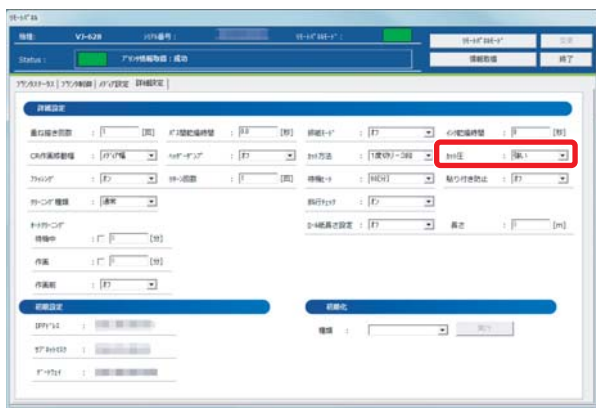
[4] [カット方法] メニューからカット方法を選択します。



[カット方法] には次のモードがあります。

- | | |
|---------|--|
| 1度切り2段階 | 「1度切り3段階」よりも少ない工程でカットします。 幅が狭めのメディアに適しています。 |
| 1度切り3段階 | 通常はこのカット方法を使用します。 |
| 2度切り2段階 | 「1度切り2段階」ではカットできない場合に設定します。 幅が狭めのメディアに適しています。 |
| 2度切り3段階 | 「1度切り3段階」ではカットできない場合に設定します。 |

[5] [カット圧] メニューからカットの強さを [強い] [弱い] から選択します。
・「弱い」は薄いメディアなどに使用します。



[6] [変更] をクリックします。
・設定が本製品に反映されます。



吸着ファンの設定

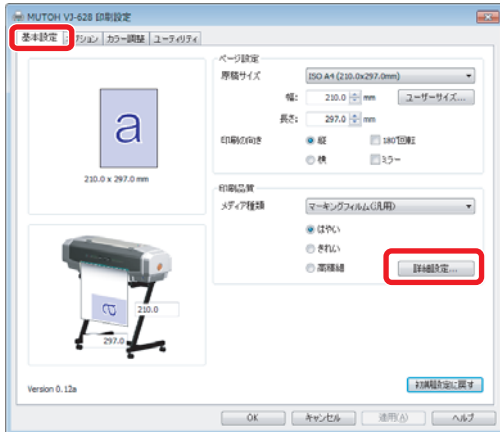
薄いメディアやコシのないメディアに印刷するときは、吸着ファンを弱めると、シワの防止やメディア詰まりの防止に効果があります。

手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2] [基本設定] タブの [詳細設定] をクリックします。



- [3] [吸着ファン] メニューで [中] [弱] から選択します。

Note

- チェックボックスのチェックを外すと、プリンター本体にすでに登録されている設定を優先します。
- MSM のリモートパネルでも同じことができます。
[メディア設定] タブの [吸着ファン] メニューで設定します。



- [4] [OK] をクリックします。

- 設定が本製品に反映されます。



ヒーターの設定

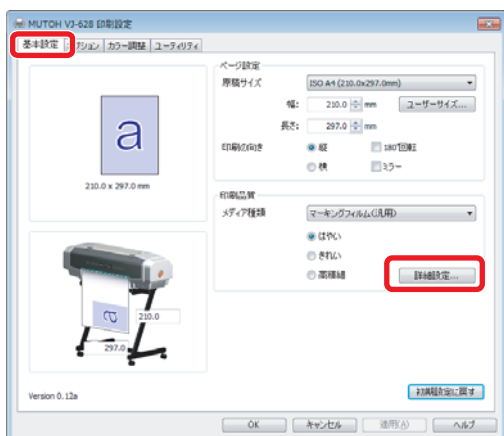
ヒーターは、印刷の前後などにメディアを温め、画質を向上させたり、乾燥を早める機能があります。メディアの厚さや素材に合わせて、ヒーターの設定を変更すると、よりよい結果を得ることができます。

手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」 P.10

- [2] [基本設定] タブの [詳細設定] をクリックします。



- [3] [メディア設定] タブの [ヒーター] メニューで、温度を入力します。
- ・ オフまたは 30 °C ~ 45 °C の間で設定できます。
 - ・ 最適な温度はメディアによって異なりますので、テスト印刷を行ってください。

Note

- ・ チェックボックスのチェックを外すと、プリンター本体にすでに登録されている設定を優先します。
- ・ MSM のリモートパネルでも同じことができます。
[メディア設定] タブの [ヒーター] メニューで設定します。

- [4] [OK] をクリックします。

- ・ 設定が本製品に反映されます。



ホワイトメンテナンスの設定

メタリックインクとホワイトインクのメンテナンス動作を設定します。

普段の印刷にメタリックインクとホワイトインクをほとんど使わない場合は、「微量」に設定しておくことで待機中のメタリックインクとホワイトインクの消費を抑えることができます。

このメニューは 7 色および 8 色設定時のみ有効になります。

手順

- [1] MSM のリモートパネルを起動します。
👉 「リモートパネルの表示方法」P.11
- [2] [詳細設定] タブの [ホワイトメンテナンス] メニューでメンテナンス動作を選択します。



[ホワイトメンテナンス] には次のモードがあります。

| | |
|----|---|
| 通常 | 通常の頻度でメタリックインクとホワイトインクのメンテナンス動作をします。初期値はこの設定です。 |
| 微量 | メタリックインクとホワイトインクのメンテナンス動作の頻度を少なくします。 |

- [3] [変更] をクリックします。
 - ・設定が本製品に反映されます。



Note

メタリックインクとホワイトインクはプリントヘッドやインクチューブ内で沈殿・凝固しやすい性質があります。そのため本製品は、待機中であっても性能維持のため定期的に少量のメタリックインクとホワイトインクを排出します。

第3章 メンテナンス

| | |
|------------------------------|----|
| メンテナンスについて | 50 |
| インクカートリッジを振る (VJ-628X) | 51 |
| メッセージの確認方法 | 51 |
| インクカートリッジを振る | 52 |
| インクの確認とインクカートリッジの交換 | 53 |
| インク残量を確認する | 53 |
| インクカートリッジの交換が近づいたら | 54 |
| インクカートリッジの交換 | 54 |
| 廃液タンクを空にする | 56 |
| 各部のクリーニング | 58 |
| ヘッドクリーニング | 58 |
| クリーニングワイパーの清掃 | 60 |
| プリントヘッド外周の清掃 | 63 |
| 内部の清掃 | 65 |
| 消耗品の交換 | 66 |
| フラッシングボックス用吸収材の交換 | 66 |
| カッターの交換 | 68 |
| 大容量パックアダプターのプラグ交換 | 69 |
| 輸送と長期保存 | 72 |
| 輸送するとき | 72 |
| 初期充電の方法 | 76 |
| 長期保存するとき | 78 |

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。
メンテナンスには次のようなものがあります。

| | |
|--------------|--|
| 毎日の作業の開始前後 | 「インクカートリッジを振る (VJ-628X)」P. 51 「ノズルチェックとクリーニング」P. 32 |
| ご使用に合わせて | 「ヘッドクリーニング」P. 58 「インクカートリッジの交換」P. 54 「廃液タンクを空にする」P. 56 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P. 66 「カッターの交換」P. 68 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P. 69 |
| 1週間に1度 | 「クリーニングワイパーの清掃」P. 60 「プリントヘッド外周の清掃」P. 63 |
| 1か月に1度 | 「内部の清掃」P. 65 |
| 1週間以上使用しないとき | 1週間に1度の 「ヘッドクリーニング」P. 58 |

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- ・エマージェンシーモード状態が繰り返し発生した。
- ・各種モーター、プリントヘッドの寿命を知らせるメッセージが MSM に表示された。

 「メッセージ/エラーメッセージへの対応」P. 80

 「お問い合わせ先」P. 85

インクカートリッジを振る (VJ-628X)

メタリックインクやホワイトインクをご使用の場合は、インクの沈殿・凝固を防ぐため、それらのインクカートリッジを次の場合に振ってください。

- 毎日の作業の開始前と作業後
- 操作パネルのエラーランプが点灯し、MSMの「ステータス情報」に次のメッセージが表示されたとき「カートリッジを振ってください No.**」(**はカートリッジスロットの番号)

⚠ 注意

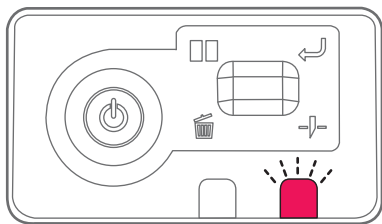


インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

メッセージの確認方法

手順

- [1] 操作パネルのエラーランプが点灯していることを確認します。

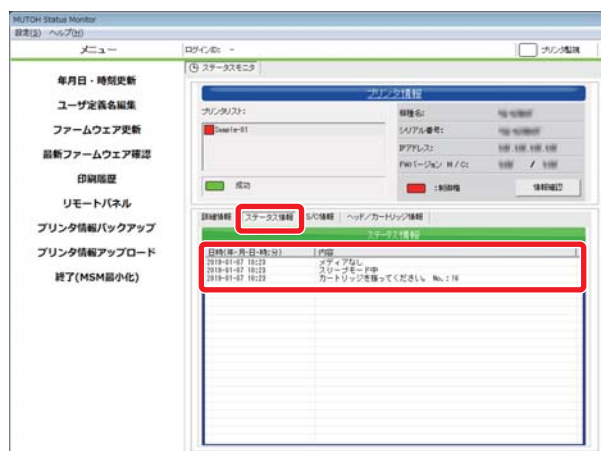


- [2] MSMを起動します。

👉 「MSMの起動方法」P.11

- [3] 「ステータス情報」を確認します。

• 例えば「カートリッジを振ってください。No.34」と表示されている場合は、スロット番号3と4のインクカートリッジを振ってください。



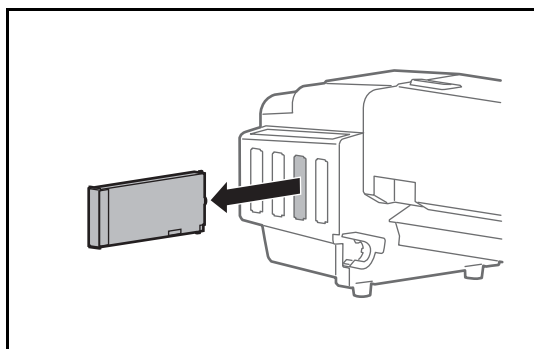
Note

- スロット番号は、本製品背面のインク色表示ラベルで確認できます。
- MSMのリモートパネルを起動している場合は、[プリンタステータス] - [ステータス情報]でも同様に確認できます。

インクカートリッジを振る

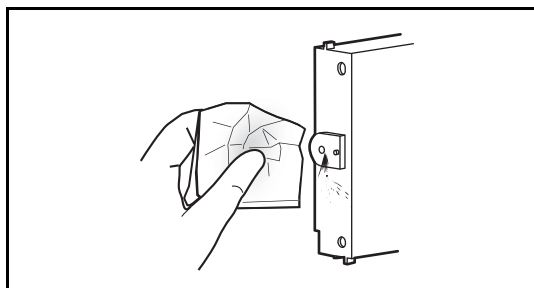
手順

[1]



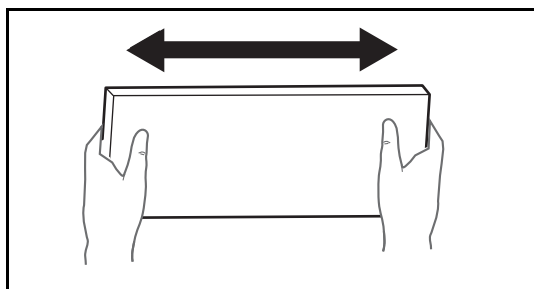
- ・プリンターの電源がオンになっていることを確認します。
- ・付属の手袋をはめ、インクカートリッジをインクカートリッジスロットから取り外します。

[2]



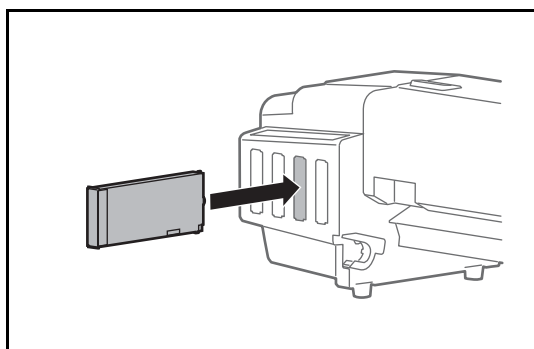
プリンター付属のペーパータオルで、インクカートリッジの差し込み口に付着しているインクを拭き取ります。

[3]



ペーパータオルでインクカートリッジの差し込み口を押えながら、インクカートリッジを水平に10往復振ります。

[4]



インクカートリッジを元のカートリッジスロットに取り付けます。

Important!

カートリッジを戻すときは、元のカートリッジスロットに取り付けてください。同じ色であっても、別のカートリッジスロットに取り付けないでください。

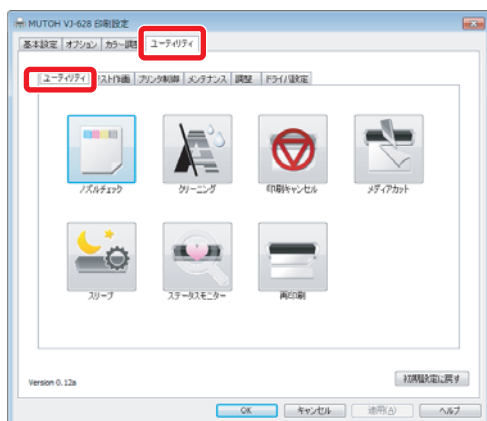
インクの確認とインクカートリッジの交換

インク残量を確認する

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」 P. 10

- [2] [ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブをクリックします。



- [3] [ステータスマニター] をクリックします。

・ MSM のリモートパネルが開きます。



Note

MSM は直接起動することができます。

☞ 「MSM の起動方法」 P. 11

- [4] [プリンタステータス] タブの、[インク情報] を確認します。

・ インクが減ると、色つきの目盛りが減っていきます。

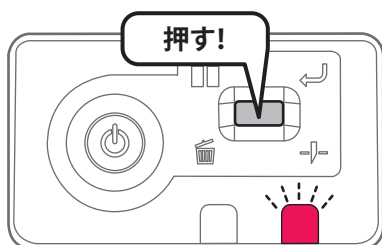


インクカートリッジの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、操作パネルのエラー LED が点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

[1]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・ブザーが停止します。



Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

[2] 交換が近づいたインクカートリッジを確認します。

- ・[ステータス情報] も確認します。



[3] 交換用カートリッジを用意します。

インクカートリッジの交換

インクがなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、ブザーが鳴ります。

印刷が一時停止します。新しいインクカートリッジに交換すると再開します。

警告



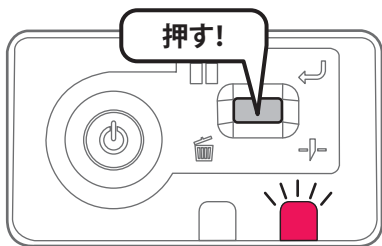
インクカートリッジは、火気や高温のものから遠ざけてください。
火災の原因となります。

Important!

- ・本製品の電源がオフになっている場合は、インクカートリッジを交換しないでください。
インク残量の検出が正しくできなくなります。
- ・インクカートリッジを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

手順

[1]

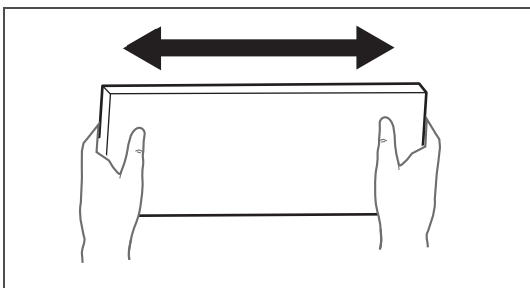


- 操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
- ・ブザーが停止します。

[2] 交換するインクカートリッジを確認します。
・[ステータス情報] も確認します。



[3]

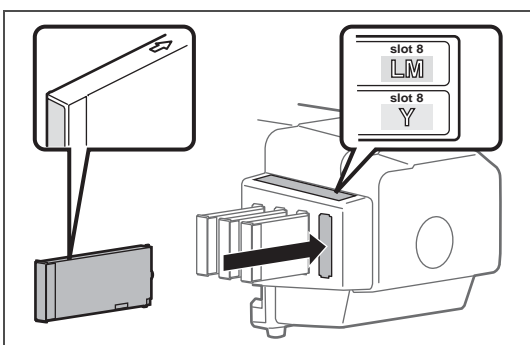


新しいインクカートリッジを2～3回軽く振ります。

Note

ホワイトインクとメタリックインクは、インクカートリッジを水平に10往復振ってください。

[4]



空のインクカートリッジを抜き、新しいインクカートリッジを差し込みます。

- ・本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・矢印マークを上にしてください。
- ・奥までしっかり差し込んでください。

Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

廃液タンクを空にする

一定量のインクを使用すると、本製品は操作パネルのエラー LED を点灯し、ブザーを鳴らします。廃液タンクの廃インクを、PET ボトルなどに移して排出してください。

⚠ 注意



インクが目に入ったり、皮膚に付着しないように注意してください。手袋を着用してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。そのまま放置すると、目の充血や軽い炎症を起こす恐れがあります。万一異常がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

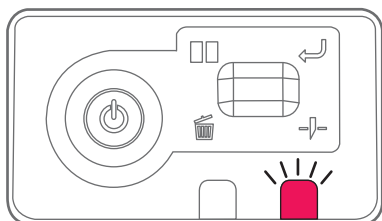
Important!

本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

手順

[1]

エラー LED の点灯を確認します。



[2] MSM を起動し、リモートパネルを表示します。

👉 [「MUTOH Status Monitor の起動方法／表示方法／終了方法」P. 11](#)

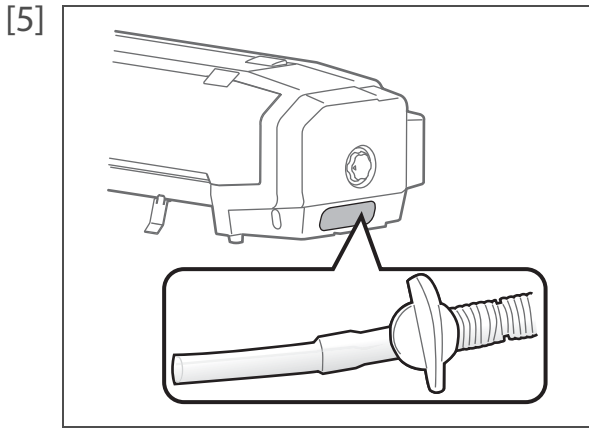
[3] [プリンタステータス] タブの [ステータス情報] を確認します。
・廃液タンクが満タンになっているメッセージが表示されます。



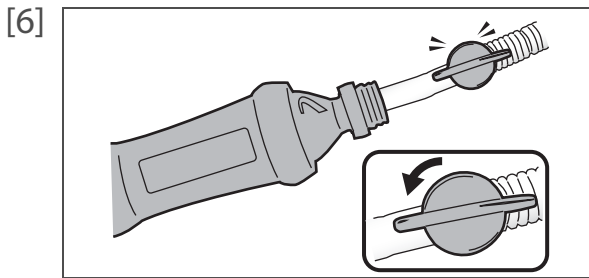
[4] PET ボトルなど、廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

廃液タンクの容量は 1,400 ml です。廃インクを排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。



廃液チューブの先端を引き出します。



- 容器に廃液チューブを差し込みます。
- 二方コックのつまみを回し、左図の位置にします。
- 容器に廃液を移します。
- 廃液を移し終わったら、二方コックのつまみをを元の位置に戻します。

警告



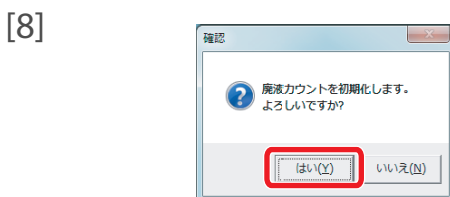
プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。

- [7] [廃液初期化] をクリックします。
- 確認ウィンドウが開きます。



Note

[廃液初期化] は、プリンタードライバーの [ユーティリティ] - [メンテナンス] から行うことができます。



- [はい] をクリックします。
- 廃液カウントをゼロにします。

各部のクリーニング

本製品を常によい状態で使用できるように、定期的にクリーニングを行ってください。

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズル抜けがあったときはヘッドクリーニングを行ってください。ヘッドクリーニングはインクを消費します。

本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

| | |
|----------|--|
| 微量クリーニング | 通常クリーニングより少量のインクを消費します。 |
| 通常クリーニング | 印刷作業の開始前と終了後にノズルチェックを行い、ノズル抜けがある場合に使用します。 |
| 強力クリーニング | 通常クリーニングより多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズル抜けが直らない場合は強力クリーニングを行ってください。 |
| 微量充填 | 強力クリーニングよりかなり高いクリーニング効果がありますが、非常に多くのインクを消費します。 |

Important!

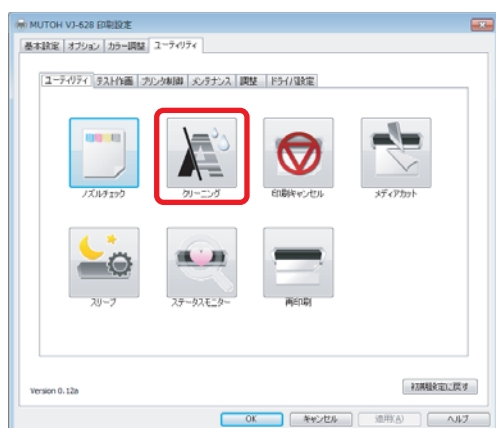
微量充填を行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。

- ・フロントカバーを開けないこと。
- ・インク残量の少ないインクカートリッジを使用しないこと。

ヘッドクリーニングの手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。
☞ [「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10](#)

- [2] [ユーティリティ] タブの [ユーティリティ] タブで、[クリーニング] をクリックします。
・「ヘッドクリーニング」ウィンドウが開きます。



Note

MSM でも同じことができます。

[3]



クリーニングの種類を選択して、[実行] をクリックします。
・クリーニングを開始します。

[4]

ノズルチェックを行います。

・ノズル抜けが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

👉 「ヘッドクリーニングの手順」P.58

Note

- ・通常クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- ・強力クリーニングを数回繰り返してもノズル抜けが直らない場合は、「[クリーニングワイパーの清掃](#)」P.60 や、「[プリントヘッド外周の清掃](#)」P.63 を行ってください。
- ・どうしてもノズル抜けが直らない場合は、「微量充填」を行ってください。

クリーニングワイパーの清掃

清掃時期：

- ・ 1週間に1度
- ・ ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくなるとき

必要なもの：

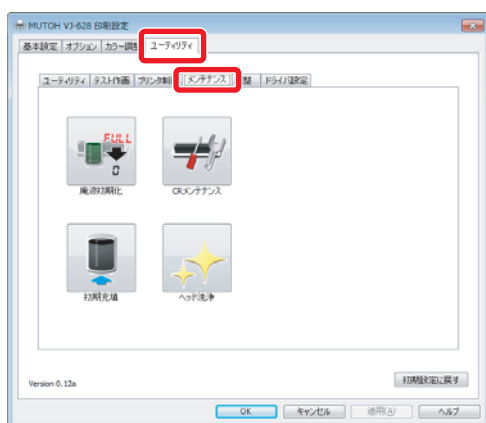
- ・ クリーンスティック

手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

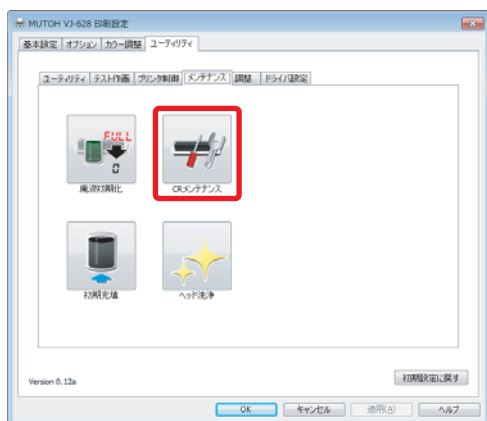
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。

- [3]



[CR メンテナンス] をクリックします。

- ・ MSM のリモートパネルが開きます。

Note

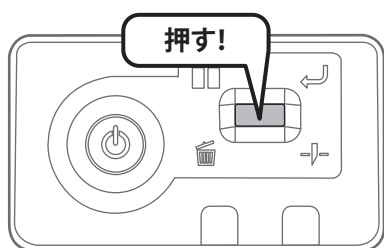
MSM は直接起動することができます。

☞ 「MSM の起動方法」P.11

[4] [実行] をクリックします。



[5]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・フロントカバー内でキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

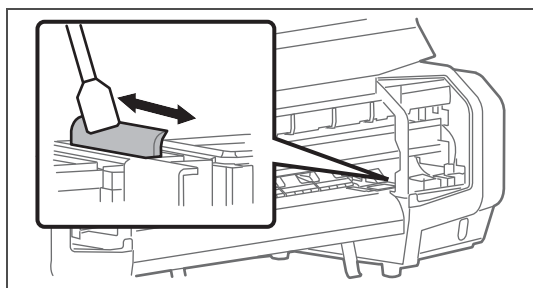
[6] フロントカバーを開きます。

 Important!

クリーニングワイパーの清掃時は、以下を守ってください。

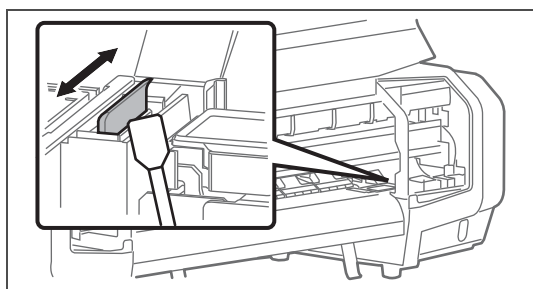
- ・クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- ・クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

[7]

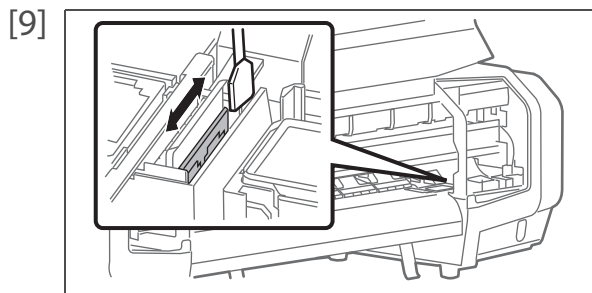


クリーンスティックで、クリーニングワイパーを拭き取ります。
・クリーニングワイパーの左側面を前後に拭き取ります。

[8]



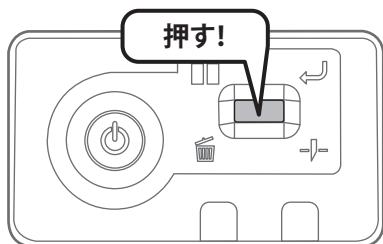
クリーニングワイパーの右側面を前後に拭き取ります。



クリーニングワイパー基部の右側面を前後に拭き取ります。

[10] フロントカバーを閉じます。

[11]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

・フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。

プリントヘッド外周の清掃

清掃時期：

- 1週間に1度
- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくなるとき

必要なもの：

- クリーンスティック

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

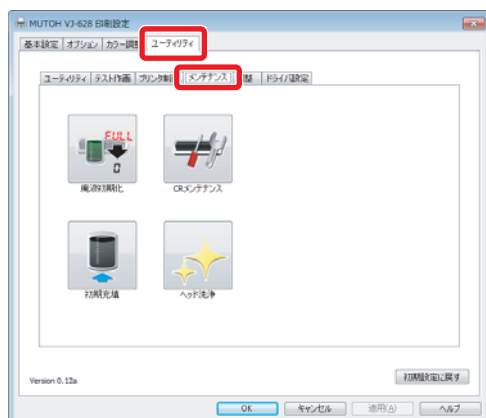
- クリーンスティックは乾拭きで使用してください。水などを付けるとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 作業時間の目安は5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

👉 [「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10](#)

- [2] [ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。



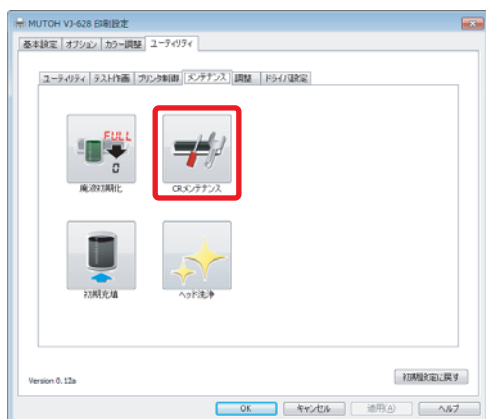
- [3] [CR メンテナンス] をクリックします。

• MSM のリモートパネルが開きます。

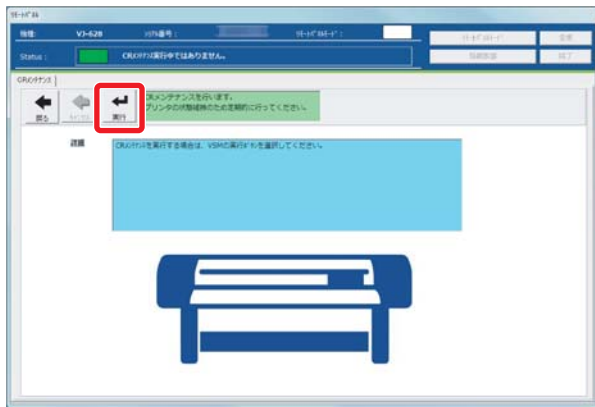
Note

MSM は直接起動することができます。

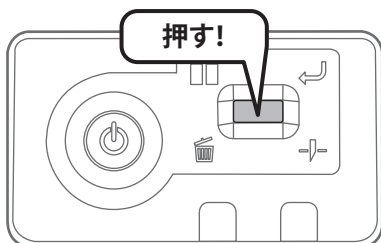
👉 [「MSM の起動方法」P.11](#)



[4] [実行] をクリックします。



[5]

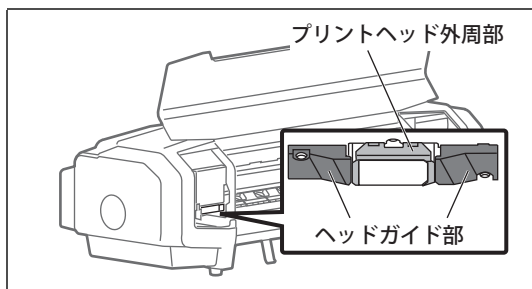


操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・フロントカバー内でキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[6] フロントカバーを開きます。

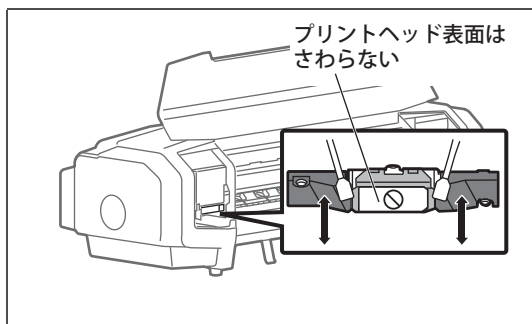
[7]



キャリッジの下側を見て、次の箇所にホコリやインクのかたまりが付着しているか確認します。

- ・プリントヘッド外周（銀色の金属部分）
- ・ヘッドガイド部（黒色のプラスチック部分）

[8]



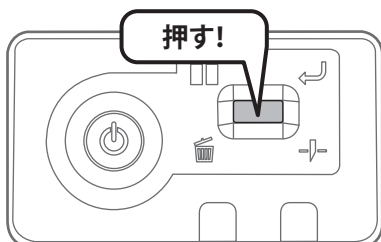
ホコリやインクのかたまりが付着していれば、クリーンスティックで清掃します。

Important!

- ・プリントヘッド表面を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ・プラテンやメディアガイドにはさわらないようにしてください。温度が高くなっている場合があります。

[9] フロントカバーを閉じます。

[10]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。

内部の清掃

清掃時期：

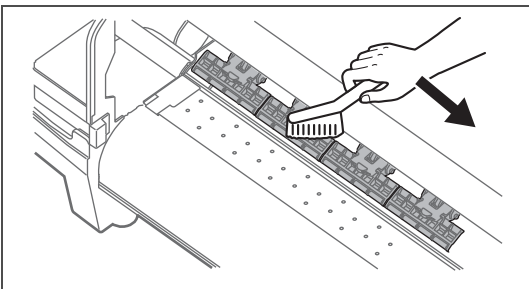
- 1か月に1度

手順

- [1] 電源がオフになっていることを確認します。
- [2] フロントカバーを開きます。

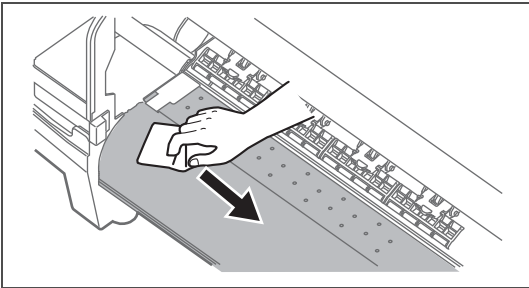
Important!

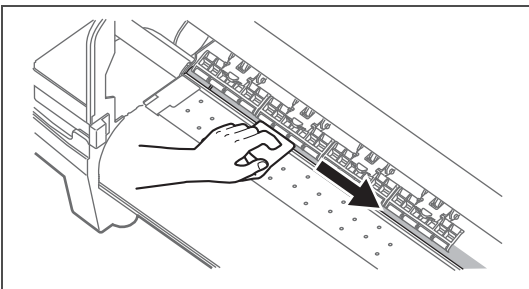
電源をオフした直後は、本製品のヒーターの温度が高くなっています。
プラテンやメディアガイドにさわってみて、熱い場合はしばらく時間をおいてから作業を始めてください。

- [3]  柔らかいブラシを使って、加圧アームのホコリを払います。

Important!

本製品内部に付着したホコリをエアダスターなどで吹き飛ばさないでください。
ホコリが可動部に付着して、異音や故障の原因となる恐れがあります。

- [4]  水を含ませてよく絞った柔らかい布で、プラテンとメディアガイドの汚れを取ります。

- [5]  水を含ませてよく絞った柔らかい布で、グリットローラーの銀色部分の汚れを取ります。

- [6] フロントカバーを閉じます。

消耗品の交換

フラッシングボックス用吸収材の交換

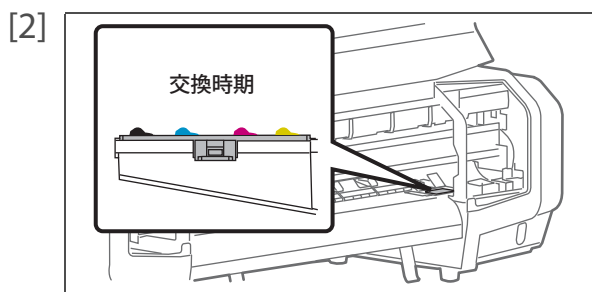
フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用し続けると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- ・ 約 2 か月（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

1. 確認手順

- [1] フロントカバーを開きます。



フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- ・ インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。

- [3] フロントカバーを閉じます。

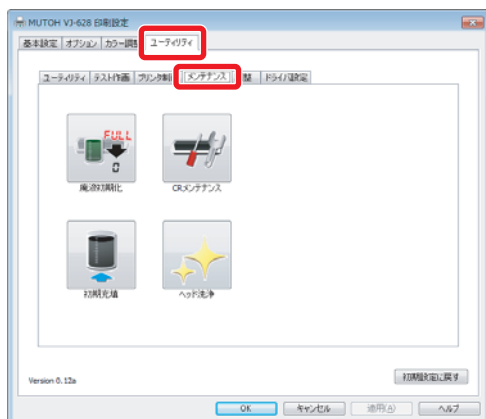
2. 交換手順

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

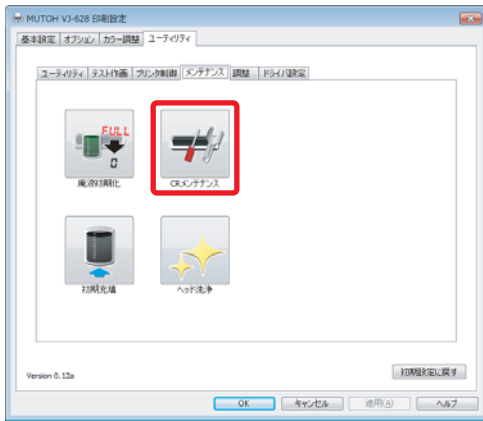
 [「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10](#)

- [2]

[ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。



[3]



[CR メンテナンス] をクリックします。

- ・ MSM のリモートパネルが開きます。



Note

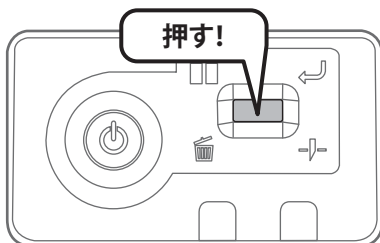
MSM は直接起動することができます。

👉 「MSM の起動方法」 P. 11

[4] [実行] をクリックします。



[5]

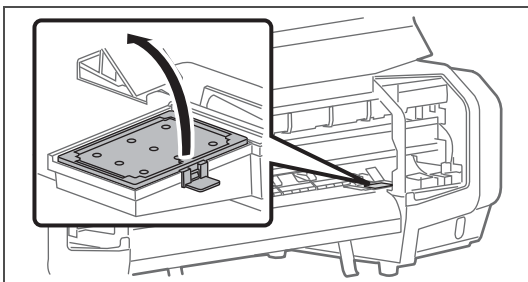


操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・ フロントカバー内でキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

[6] フロントカバーを開きます。

[7]



フラッシングボックス用吸収材を取り外します。

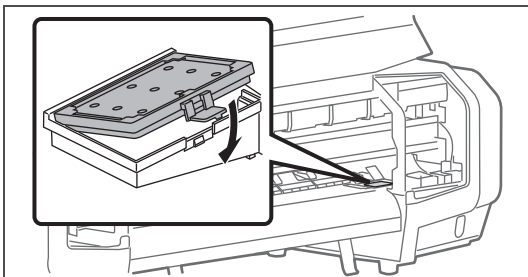
- ・ フラッシングボックス用吸収材のツメを持ち上げて、フックを解除してください。



Important!

フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクが垂れ落ちないように注意してください。

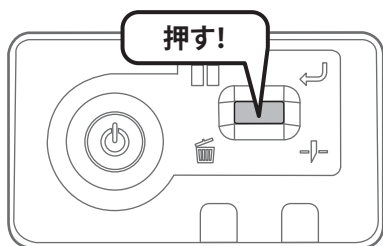
[8]



新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。

[9] フロントカバーを閉じます。

[10]



操作パネルのオペレーションキーを短押しします。

- ・フロントカバー内でキャリッジが元の位置に移動します。

カッターの交換

カッターが切れなくなってきたら、新しいカッターと交換してください。

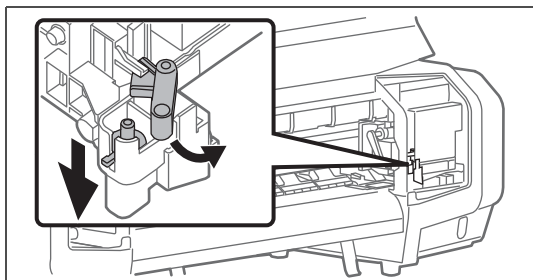
▲ 注意

- ・カッターのつまみを強く押したり、急に離したりしないでください。
カッターの下にバネがありますので、カッターが飛び出す可能性があります。
- ・カッターの刃先には触れないでください。
けがをする恐れがあります。

手順

[1] フロントカバーを開きます。

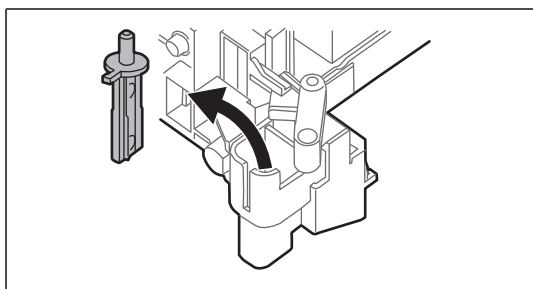
[2]



カッター押さえをずらしてカッターが取り出せるようにします。

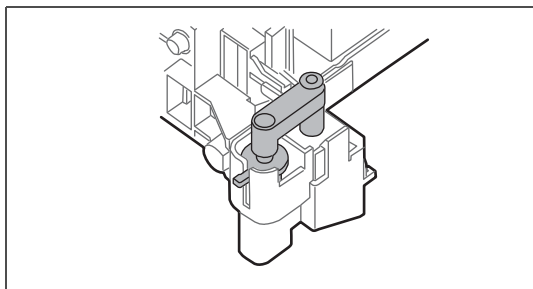
- ・カッターのつまみを下に軽く押しながら、カッター押さえを手前にずらします。

[3]



カッターを取り外します。

[4]



新しいカッターを取り付けます。

- ・カッター押さえを元のようにカッターにセットしてください。

[5] フロントカバーを閉じます。

大容量パックアダプターのプラグ交換

大容量パックアダプターは、一定回数抜き差しをするとプラグの交換が必要になります。

1. プラグ寿命の確認方法

大容量パックアダプターを抜き差しすると、プラグ寿命が減っていきます。

以下の手順で定期的にプラグ寿命を確認してください。

[1] MSMのリモートパネルを起動します。

👉 [「リモートパネルの表示方法」P.11](#)

[2] [プラグ寿命] タブをクリックします。

- ・寿命は緑色の星の数で表示しています。はじめは星が5個表示されています。
- ・プラグの寿命が近付くにつれて、星の数が1個（20%）ずつ減っていきます。
- ・黄色の星が表示されたら、プラグの交換が近付いています。交換用プラグを用意してください。
- ・赤色の星が表示されたら、プラグの交換が必要です。



Note

交換用プラグは大容量パックアダプターに付属しています。

2. プラグの交換

プラグ寿命がなくなると、操作パネルのエラー LED が点灯し、MSM のステータス情報にメッセージが表示されます。

以下の手順で新しいプラグに交換してください。

新しいプラグに交換し、プラグ寿命を初期化するとエラー LED が消灯します。

- [1] MSM のリモートパネルを起動します。

👉 「リモートパネルの表示方法」P.11

- [2] ステータス情報を確認します。

・例えば「プラグを交換してください。No.28」と表示されている場合は、スロット番号 2 と 8 の大容量パックアダプターのプラグを交換してください。



- [3] 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。

👉 大容量パックアダプター取扱説明書「3.3 アダプタープラグの交換」

- [4] 交換したスロット番号のプラグ寿命を初期化します。

👉 「プラグ寿命初期化」P.71



Note

上の画面は VJ-628X の場合です。機種により画面が異なります。

3. プラグ寿命初期化

大容量パックアダプターのプラグ交換を行った場合は、以下の手順でプラグ寿命を初期化してください。

- [1] MSMのリモートパネルを起動します。
☞ 「リモートパネルの表示方法」P.11
- [2] 「プラグ寿命」タブで、プラグを交換したスロットをチェックします。



- [3] 「プラグ寿命初期化」をクリックします。
 - ・確認ウィンドウが開きます。



- [4] 「はい」をクリックします。
 - ・選択したスロットのプラグ寿命が初期化されます。



Important!

プラグ交換していないスロットのプラグ寿命を初期化しないでください。インク漏れの原因になります。

輸送と長期保存

本製品を輸送するときや長期間使わないときにご覧ください。

輸送するとき

本製品を輸送するときは、内部を洗浄カートリッジで洗浄し、廃インクを排出し、梱包材でプリントヘッドを固定する必要があります。そのまま輸送すると、インクが漏れたり、プリントヘッドが故障したりする原因になります。ふたたび使用するときには、再設置作業と初期充てんを行います。

Important!

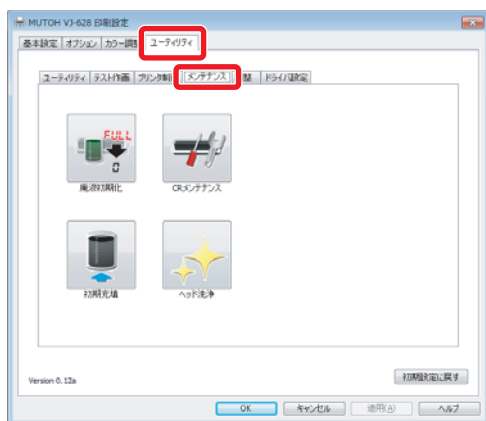
- 本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。
- 本製品を傾けたり、立てかけたり、上下を逆にしないでください。内部のインクが漏れる恐れがあります。また移動後の正常動作が保証できません。

1. ヘッド洗浄と廃インクの排出

- [1] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。

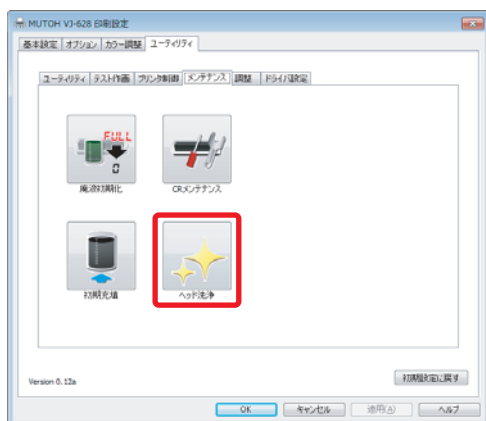
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [2]



[ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。

- [3]



[ヘッド洗浄] をクリックします。

- MSMのリモートパネルが開きます。

Note

MSMは直接起動することができます。

☞ 「MSMの起動方法」P.11

- [4] [ヘッド洗浄] タブで [実行] をクリックします。
- ・画面に沿ってヘッド洗浄を行ってください。
 - ・ヘッド洗浄が終わった後に、プリンターの再起動と初期充電は行わないでください。



- [5] 廃液タンクを空にします。
- 👉 「廃液タンクを空にする」P.56



- 本製品の電源ボタンをオフします。
- ・青色のランプが消灯します。
 - ・本製品が電源オフ動作を開始します。

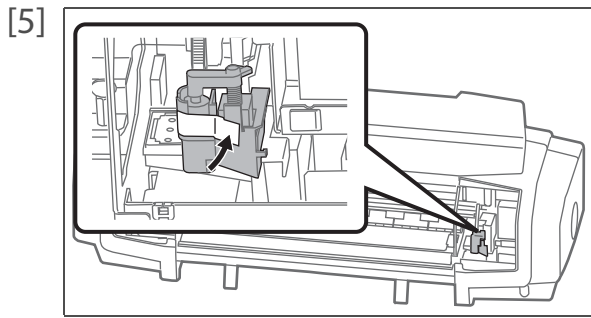
2. 再梱包

- [1] 電源ケーブルなどのケーブル類をすべて取り外します。

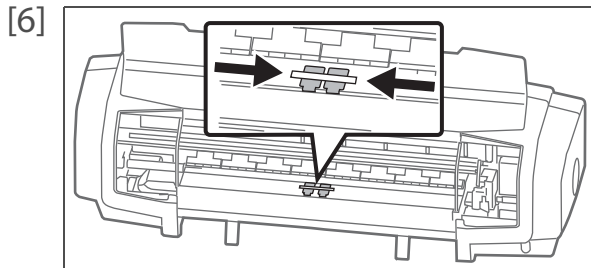
- [2] フロントカバーを開きます。

- [3]  ヘッド固定板をネジで取り付けます。

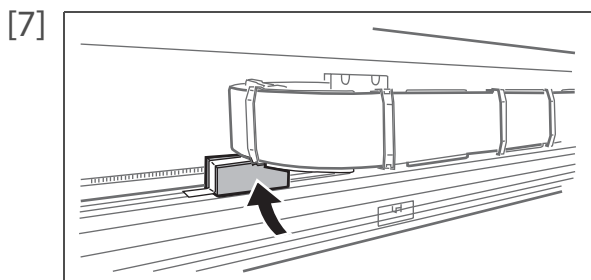
- [4]  ヘッド保護材を取り付け、テープで固定します。



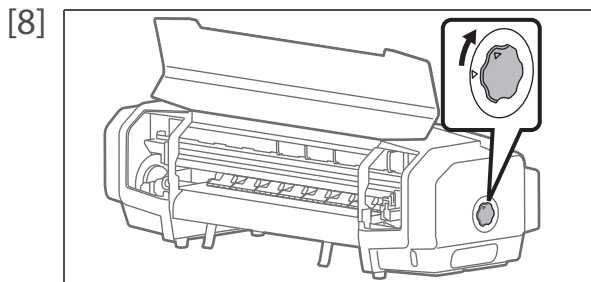
カッターをテープで固定します。



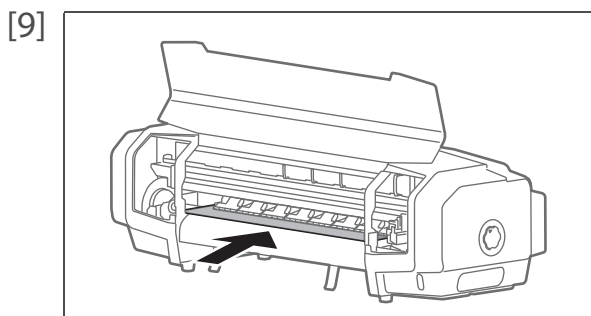
メディア押さえプレートを中央に移動し、テープで固定します。



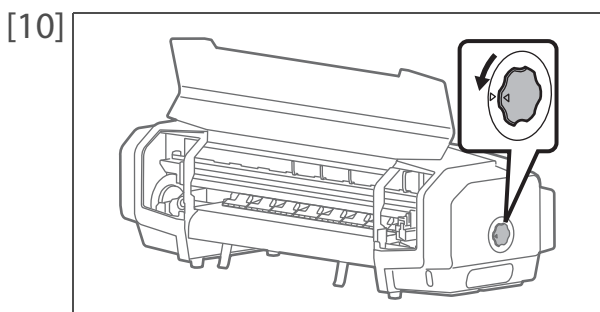
スチールベアの保護材を取り付け、テープで固定します。



メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

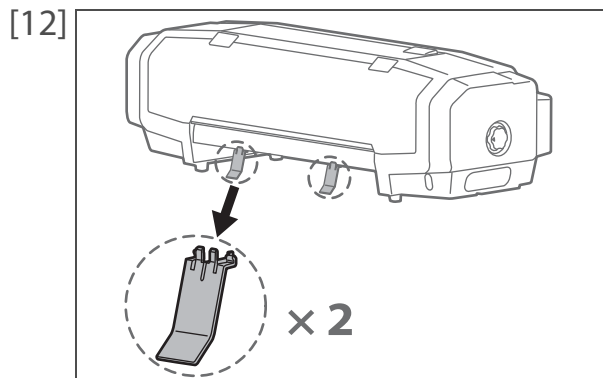


ローラー保護シートを取り付けます。

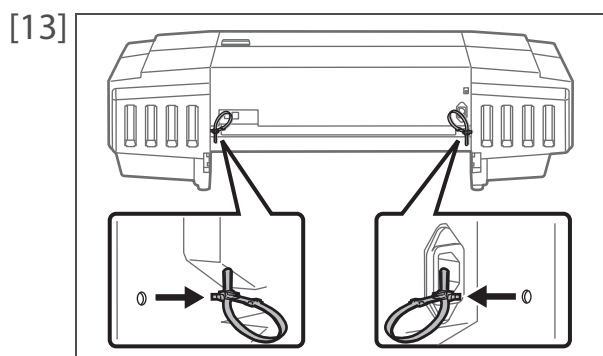


メディア固定ハンドルを回して、ロックします。
・ローラー保護シートが固定されます。

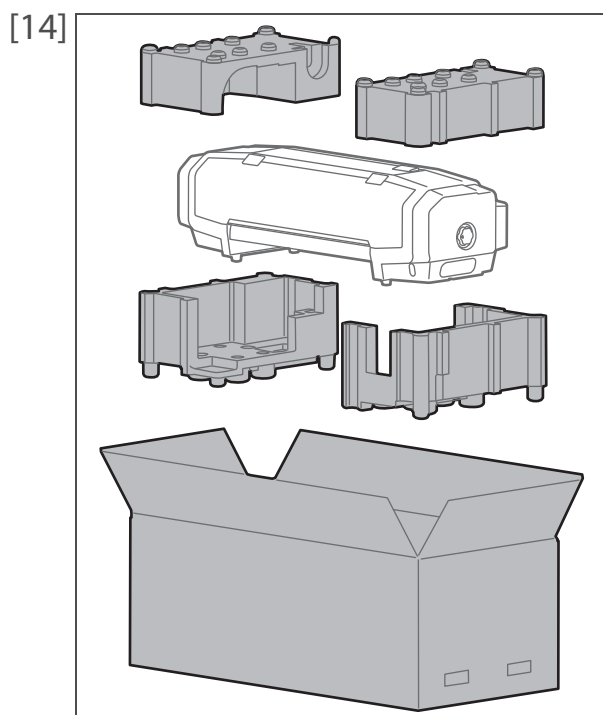
[11] フロントカバーを閉じます。



メディアガイド 2 個を取り外します。



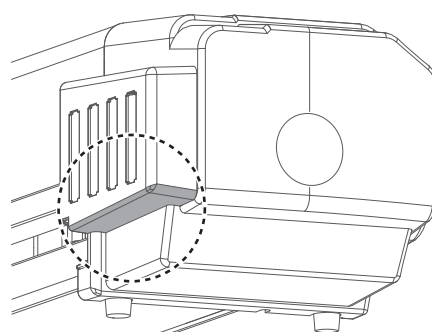
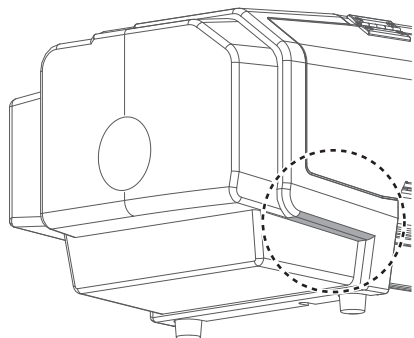
結束バンド 2 個を取り外します。



緩衝材を取り付け、梱包箱に本製品を入れます。

Note

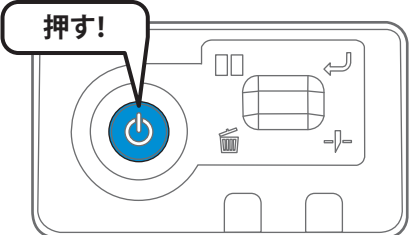
本製品を移動する場合は、製品の以下の部分を持ってください。



3. 再設置

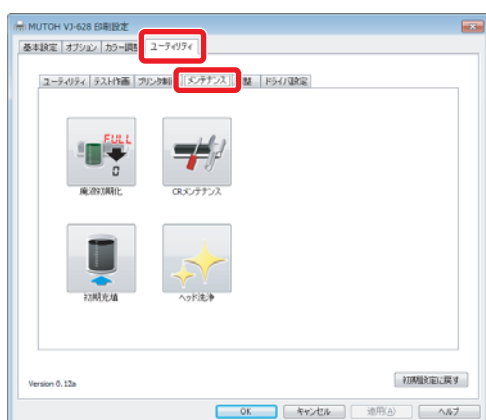
- [1] 「スタートアップガイド」を見ながら、本製品を開梱し、組み立てます。
・「セットアップをはじめる」の前まで行います。
- [2] 初期充てんを行います。
☞ 「初期充てんの方法」P.76

初期充てんの方法

- [1]  本製品の電源ボタンをオンします。
 - ・青色のランプが点灯します。
 - ・本製品が初期動作を開始します。

- [2] プリンタードライバーの印刷設定画面を表示します。
☞ 「プリンタードライバーの印刷設定画面の表示方法」P.10

- [3] [ユーティリティ] タブの [メンテナンス] タブをクリックします。



- [4] [初期充填] をクリックします。
 - ・MSMのリモートパネルが開きます。

Note

[初期充填] はMSMのリモートパネルの[プリンタ制御]タブからも実行できます。

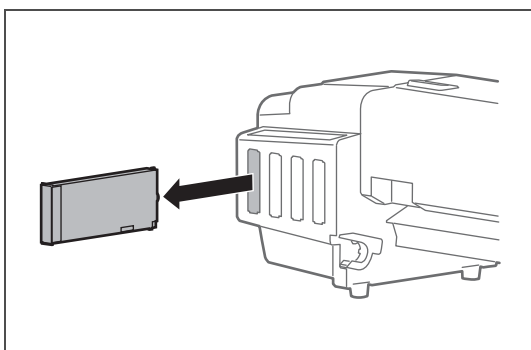
☞ 「MSMの起動方法」P.11

[5] 廃液タンクを空にしてから、[実行] をクリックします。

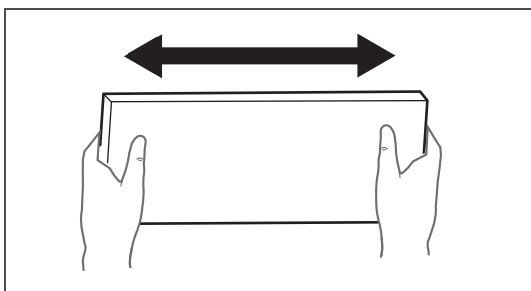
☞ 「廃液タンクを空にする」P.56



[6] カートリッジスロットにインクカートリッジが挿入されている場合は、すべて抜きます。



[7] インクカートリッジを2～3回軽く振ります。



Note

ホワイトインクとメタリックインクは、インクカートリッジを水平に10往復振ってください。

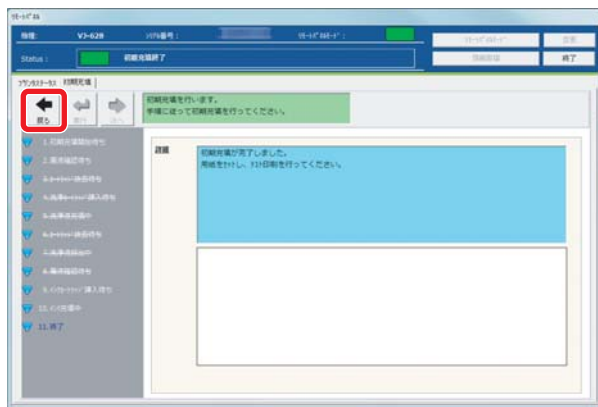
[8] インクカートリッジを本製品に差し込みます。

- ・ 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- ・ 矢印マークを上にしてください。
- ・ 奥までしっかり差し込んでください。

Note

すべてのインクカートリッジを差し込むと、本製品がインク充てんを開始します。

- [9] [終了] 画面で [戻る] をクリックします。
・初期充てんを完了します。



長期保存するとき

- [1] 長期間使わないときは、ヘッド洗浄と廃インクの排出を行ってください。
☞ 「[輸送するとき](#)」P.72 の「[ヘッド洗浄と廃インクの排出](#)」
- [2] ふたたび使用するときには、初期充てんを行います。
☞ 「[初期充てんの方法](#)」P.76

第4章 付録

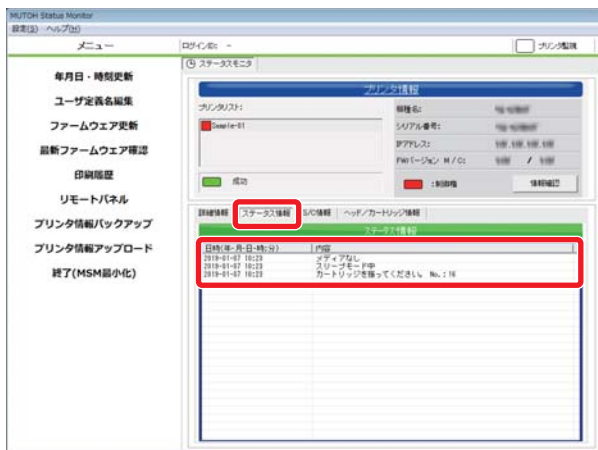
| | |
|--------------------------|----|
| 困ったときには | 80 |
| メッセージ/エラーメッセージへの対応 | 80 |
| メディアが詰まった場合..... | 84 |
| お問い合わせ先..... | 85 |
| | |
| 本製品の仕様 | 86 |
| 作画領域 | 86 |
| 仕様一覧 | 87 |

メッセージ／エラーメッセージへの対応

メッセージ／エラー／ワーニングを確認する

本製品が正常に動作しているときのメッセージや、問題が起きた場合のエラー／ワーニングを確認するには、MSMを使用します。

- [1] MSMを起動します。
☞ [「MSMの起動方法」P.11](#)
- [2] [ステータス情報]を確認します。
 - ・メッセージ／エラー／ワーニングの内容が表示されます。
 - ・対処方法が表示された場合は、表示に従ってください。



Note

- ・MSMのリモートパネルを起動している場合は、[プリンタステータス] - [ステータス情報]でも同様に確認できます。
- ・エラー状態のときは、動作を一時停止する場合があります。エラーの原因を取り除くと、動作を再開します。

操作パネルのメッセージ表示

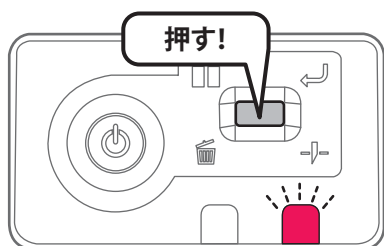
操作パネルのエラーLEDが点灯します。

- [1] メッセージの内容を、MSMで確認し、対処してください。
☞ [「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.80](#)

操作パネルのエラー表示

操作パネルのエラー LED が点灯（ワーニング状態のときは点滅）し、ブザーが鳴ります。

[1]



ブザーが鳴り続けている場合は、操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・ブザーが停止します。

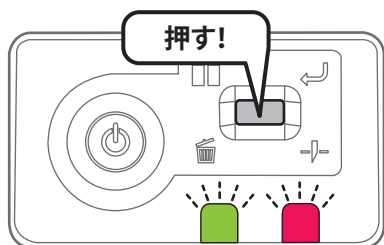
[2] エラー／ワーニングの内容を、MSM で確認し、対処してください。

👉 「メッセージ／エラー／ワーニングを確認する」P.80

エマージェンシーモード状態

重大な障害が起きると、操作パネルのデータ LED とエラー LED が同時に点滅し、ブザーが一定間隔で鳴ります。

[1]



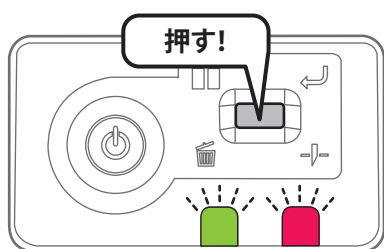
操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・ブザーが停止します。

[2] 重障害エラーの内容を、MSM で確認してください。

👉 「エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する」P.82

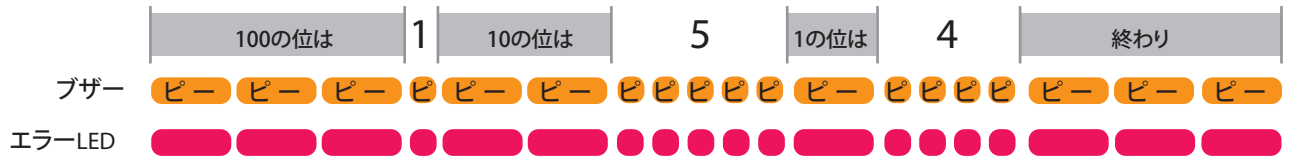
- ・確認できた場合は、[5] に進みます。
- ・ステータスマニターが見られない場合は、[3] に進みます。

[3]



ステータスマニターが見られない場合は、もう一度操作パネルのオペレーションキーを短押しします。
・LED とブザーが規則的なパターンで点滅・鳴ります。
このパターンはエラーの番号を示しています。

- [4] ブザーの短く鳴る回数（または、LED の短く点滅する回数）を数えます。
- ・エラー番号は 3 桁です。
 - ・長く鳴るブザーがエラー番号の桁を示し、その後に短く鳴るブザーがエラー番号を示します。
 - ・例えば、154 番のエラーは、次のパターンになります。
長く 3 回、短く 1 回、長く 2 回、短く 5 回、長く 1 回、短く 4 回、長く 3 回



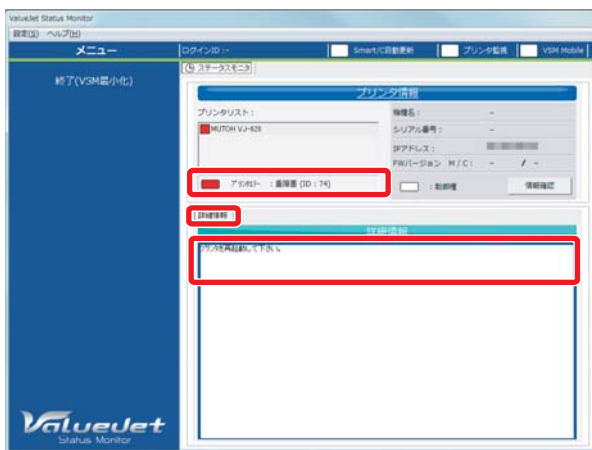
Note

- ・パターンは繰り返しません。もう一度確認するときは操作パネルのオペレーションキーを短押ししてください。
- ・ある桁のエラー番号が「0」のときは、長いブザー（桁数を示すブザー）だけが鳴り、一定時間の無音の後に、次の桁を示す長いブザーが鳴ります。LED も長い点滅のみで、短い点滅をせずに次の長い点滅に移ります。

- [5] 以下を確認してください。
- ・フロントカバーを開けて、メディアが詰まっている場合は、取り除いてください。
 - ・交換した部品があれば、正しく取り付けられているか確認してください。
- [6] 本製品の電源をオフにして、10 秒以上たってから電源をオンにします。
再起動後に同じエラーが起きる場合は、MUTOH カスタマーサポートまでご連絡ください。
- [「お問い合わせ先」P.85](#)

エマージェンシーモード状態の障害内容を確認する

- [1] MSM を起動します。
 [「MSM の起動方法」P.11](#)
- [2] [プリンタ情報] と [詳細情報] を確認します。
・重障害エラーの内容と対処方法が表示されます。



スマートチップリカバリー

MSM に以下のメッセージが表示された場合、インクカートリッジのスマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のメッセージが表示された場合、正しいインクカートリッジが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。

スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

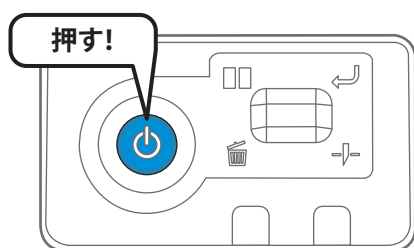
| 表示 | 内容 |
|------------------------|--|
| S/C カード認識エラー No.:***** | スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 対象のインクカートリッジを挿し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいインクカートリッジを挿入してください。 ・インクカートリッジを挿し直して、新たに「正しい色が確認してください No.:****」が表示された場合は、「正しい色が確認してください No.:****」の内容に従って操作してください。 |
| 正しい色が確認してください No.:**** | スマートチップリカバリーが必要なインクカートリッジが挿入されている可能性があります。 正しいインクカートリッジが挿入されているか、ご確認ください。 ・間違ったインクカートリッジが挿入されている場合、正しいインクカートリッジを挿し直してください。 ・正しいインクカートリッジが挿入されている場合、Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。 |

Note

スマートチップリカバリー実行中は、MSM の S/C 情報において、対象のカートリッジ No. が黄色く表示されます。

メディアが詰まった場合

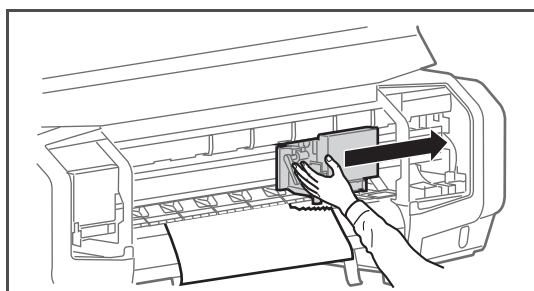
[1]



- 本製品の電源ボタンをオフします。
- ・青色のランプが消灯します。
 - ・本製品が電源オフ動作を開始します。

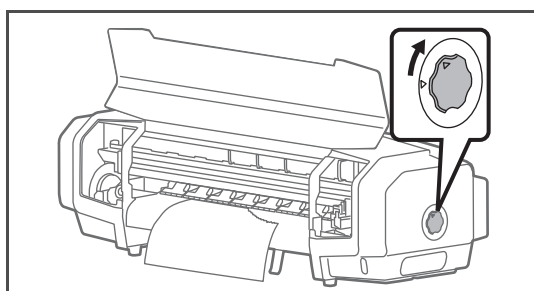
[2] フロントカバーを開きます。

[3]



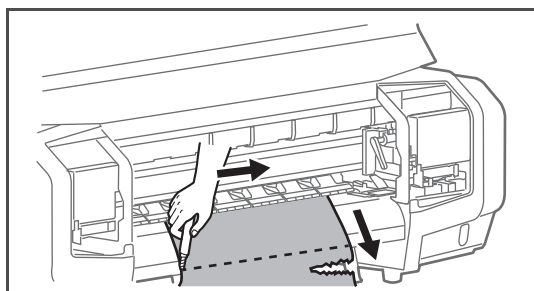
キャリッジをメディア上から右へ移動します。

[4]



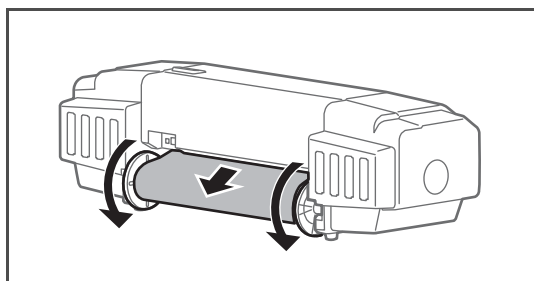
メディア固定ハンドルを回して、ロックを解除します。

[5]



メディアを引き出して、破れた部分をカッターでカットします。

[6]



スクローラーの両端を持って、メディアを手で巻き戻します。

[7] 本製品の内部にちぎれたメディアや異物が残っている場合は、取り除きます。

お問い合わせ先

本製品で技術的に困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : ☎ 0120-174911

FAX : ☎ 0120-184711

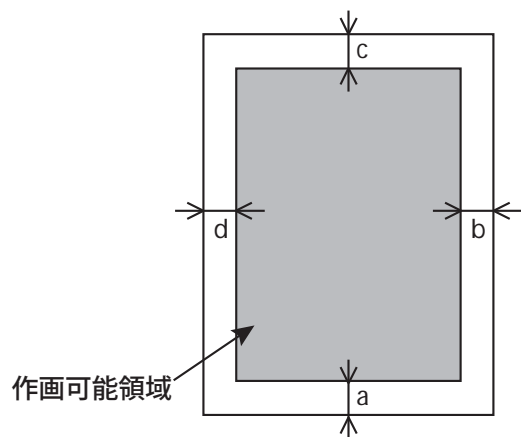
E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

本製品の仕様

作画領域



a=5mm *1 *2
b=5mm~25mm *3
c=5mm
d=5mm~25mm *3

*1 メディアイニシャル、マニュアルバックフィード後、貼り付き防止処理後は15mmで印刷を開始。

*2 メディアイニシャル先端オン時、オートカット時は40mmで印刷を開始。

*3 リモートパネル設定による

仕様一覧

| | | |
|-----------|---------------------------------------|--|
| 機種名 | VJ-628 / 628X | |
| 印刷方式 | オンデマンドピエゾ方式 | |
| 駆動方式 | ファームウェアサーボ / DC モータ駆動 | |
| 給紙方式 | 水平搬送、ロール紙、本製品後方からのセット、給紙操作で前方排紙、外巻き限定 | |
| メディア固定 | メディア固定ハンドルによる加圧ローラダウン方式 | |
| 使用できるメディア | ロール紙外径 | 150 mm |
| | ロール紙重量 | 9 kg 以下 |
| | 最大用紙幅 | 630 mm (紙管 > 用紙幅の場合は紙管幅) |
| | 最大用紙厚さ | ヘッド高さ「低い」設定時：最大 0.3 mm ヘッド高さ「高い」設定時：最大 1.3 mm |
| 最大印刷幅 | 620 mm | |
| メディアカット方式 | オートカットまたはマニュアルカット | |
| ヒーター | メディアガイド下に設置、オフ / 30 °C ~ 45 °C | |
| ヘッド高さ調整 | 「低い」 / 「高い」 の 2 段階 | |
| CPU | 64bit RISC CPU | |
| メモリ | 256MB | |
| インターフェース | Ethernet (10/100BASE-TX) | |
| インク | 色 | 4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 6 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ) 7 色 * (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト) 8 色 * (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト、メタリック) *VJ-628X のみ |
| | 種類 | 220 ml カートリッジ / 1,000 ml インクパック (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー) 220 ml カートリッジ (ライトシアン、ライトマゼンタ、ホワイト、メタリック) |
| 廃液タンク | 本体固定式、容量 1,400 ml、ユーザーによる廃液排出 | |
| 環境条件 | 動作環境 | 温度：20 °C ~ 32 °C、湿度：40% ~ 60% (結露なきこと) |
| | 印刷精度保証範囲 | 温度：22 °C ~ 30 °C、湿度：40% ~ 60% (結露なきこと) |
| | 変化率 | 温度：1 時間あたり 2 °C 以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内 (結露なきこと) |

| | | |
|-----------|------------------|---|
| 環境条件 (続き) | 保存環境 | インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20℃～60℃、湿度：20%～80%（結露なきこと） インク充てん保存：1週間以内* *32℃以上の場合、4日間以内 温度：-10℃～40℃、湿度：20%～80%（結露なきこと） |
| 電源 | 電圧 | AC 100V～120V ±10% または 200V～240V ±10% |
| | 周波数 | 50Hz / 60Hz ±1Hz |
| | 容量 | 6.5 A 以上 |
| | 電圧切り替え | 100V / 200V セレクタースイッチによる手動切り替え 出荷時の設定は 200V |
| 消費電力 | 電源オフ | AC100V～120V、1 W 以下 AC200V～240V、1.1 W 以下 |
| | オペレーション | 830 W 以下 |
| 消費電流 | 100V～120V | 6.5 A 以下 |
| | 200V～240V | 3.5 A 以下 |
| 外形寸法 | 高さ | 366 mm（専用スタンド装着時：1,166 mm） |
| | 幅 | 1,190 mm |
| | 奥行き | 438 mm（専用スタンド装着時：590 mm） |
| 質量 | 本体 | 31.8 kg |
| | 脚部 | 8.7 kg |

MUTOH